

人づくり

令和 5 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進
施策の将来の目標像	様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が発揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H25年度)	目標値 (R6年度)
	「日常生活の中で、人権が大切にされている」と思う人の割合	41.6%	45.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 人権啓発の推進	主管部局・所属	生活環境部 人権男女共同参画課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民一人ひとりが人権尊重の意識を高め、生き生きと暮らせる社会の実現	現状	多様な人権侵害が発生している	
課題	市民が人権について正しく理解することが必要	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
		身近な問題として考えることができる啓発等の実施	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 「差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある」と考える市民の割合(市民満足度調査)	73.3 ( R1 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	80.2	82.5	85.0	85.0 ( R6 )	%
(4)	( )					( )	
(4)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R4年度			4,863			
			3,835			
R5年度			6,574			
			5,443			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R4 当初予算額	R5 当初予算額
				R4 決算額	R5 決算額
1-1	3・1・6 人権啓発推進事業	人権男女共同参画課	1.80	4,863	6,574
合計			1.80	4,863	6,574

R5事業費の分析（差額＝「R5年度当初予算額」－「R5年度決算額」）

※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R5成果指標の分析（成果指標の平均達成率）

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	① 人権啓発の推進

事業の概要					
戦略	1 啓発等の実施	予算	6,574 千円	前年度	4,863 千円
事務事業	1-1 人権啓発推進事業	予算	6,574 千円	前年度	4,863 千円

内容

1-1\_人権啓発の推進

① 人権啓発の推進 (5,039 千円 (前年度 4,863 千円))

ア 啓発活動の実施 (うち 3,050 千円)

(ア) 人権フェスティバルひがしひろしまの開催 (12月) (うち 2,245 千円)

市民の人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権尊重意識の高揚を図ることを目的として開催する。小学生による「人権の花運動」の活動発表、中学生の人権作文の表彰、人権講演会、人権擁護委員による人権相談室などを予定。

(イ) 人権教育・人権啓発指導者研修会の開催 (10月) (うち 805 千円)

人権教育・人権啓発の「指導者」としての役割を担う公務員、教職員、団体等の関係者を対象に、人権問題に関する新しい情報や問題解決に向けて必要な知識などを提供する研修会を開催する。オンラインでの配信も予定。



人権フェスティバル 2022 ひがしひろしま (R4.12.3)



令和4年度人権教育・人権啓発指導者研修会 (R4.10.19)

イ 人権擁護事業への補助 (うち 750 千円)

東広島竹原人権擁護委員協議会が実施する啓発活動や運営に係る事務費を補助する。



## 事業の概要

### ② 人権課題への取組み（1,535千円（前年度0千円））

#### 【新】ア パートナーシップ宣誓制度の導入（うち935千円）

全ての人々が人権の意義や重要性についての理解を深め、自己の人権のみならず、他者の人権についても正しく理解し、性の多様性を認め合いながら、一人の人間として自分らしく生きることができる社会の実現に向けてパートナーシップ宣誓制度を導入し、性的マイノリティの方々の生きづらさや不安の軽減を図ろうとするもの。

対象：一方または双方が性的マイノリティである二人

二人のうちどちらかが市内に住所を有する人

（転入予定も含む。）

#### 【新】イ 犯罪被害者等の支援（うち600千円）

犯罪被害者等に対する市、市民等及び事業者の責務を明確にするとともに、関係機関等と連携し、必要な支援を総合的に推進する。また、犯罪被害者又はその遺族に対して、犯罪被害者等見舞金を支給する。

支給額：遺族見舞金 30万円

傷害見舞金 10万円

令和 5 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進
施策の将来の目標像	様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が発揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H25年度)	目標値 (R6年度)
	「日常生活の中で、人権が大切にされている」と思う人の割合	41.6%	45.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 男女共同参画の推進	主管部局・所属	生活環境部 人権男女共同参画課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	性別にかかわらず個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	現状	固定的な性別役割分担意識が根付いている	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
性別による固定的な役割分担の「思い込み」が根強くあり、個人が能力を発揮できていないこと	性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に気づく啓発等の実施		中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 「地域社会において男女の地位は平等だ」と考える市民の割合(市民満足度調査)	42.9 ( R1 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	47.0	48.5	50.0	50.0 ( R6 )	%
(4)	( )					( )	
(7)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R4年度			4,265			
			4,263			
R5年度			9,755			
			9,754			



## 概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	② 男女共同参画の推進

事業の概要					
戦略	1 啓発等の実施	予算	9,755 千円	前年度	4,265 千円
事務事業	1-1 男女共同参画推進事業	予算	9,755 千円	前年度	4,265 千円

### 内容

#### 1-1\_男女共同参画の推進

##### ① エスポワールの運営 (3,513 千円 (前年度 3,345 千円))

男女共同参画に係る各種情報の収集、提供や電話相談での対応、講座開催。

##### ア 情報収集・提供 (うち 177 千円)

(ア) 男女共同参画に関わる図書等の収集、閲覧、貸出及び紹介

(イ) メールマガジンの配信 毎月 1 回 (年間 12 回)

##### イ 活動支援

(ア) 女性団体への活動スペース等の提供

##### ウ 講座 (うち 214 千円)

(ア) おしゃべりカフェ連続講座 5 回

目的：育休中または「いつか働きたい」と考えている人を対象に、生活設計やキャリアプランなどに関する連続講座や、子育て世代向けの講座を実施し、男女共同参画社会の実現につなげようとするもの。

対象：育休中、子育て世代の人



おしゃべりカフェ

「私たちの暮らしにもっと彩りを」R4.9.8



おしゃべりカフェ

物価高に負けない！安心できるマネープラン R4.9.29

##### ② 啓発活動の開催 (349 千円 (前年度 712 千円))

##### ア キャリアデザイン講座 (うち 105 千円)

目的：将来の進路選択時期を迎えている者へのライフプランについて考えるきっかけづくりとして開催する。

対象：市内高校

【活動指標】実施回数 2 回

※R3 実績 1 回、R4 実績 1 回

## 事業の概要

### イ 男女共同参画の人形劇（うち 41 千円）

目的：固定的な性別役割分担意識への気づきを与えることによる男女共同参画の意識の醸成

対象：幼稚園、保育所の幼児とその保護者

### ウ 出張型エスポワールの実施（うち 203 千円）

市内中心部に位置するエスポワールに来られない人たちを想定し、地域へ出向き、子育て世代へ男女共同参画を啓発する。市内 5 か所で実施予定。



出張おしゃべりカフェ 黒瀬児童館 R4. 6. 24



出張おしゃべりカフェ 安芸津児童館 R4. 7. 22

### ③ 男女共同参画推進審議会（208 千円（前年度 208 千円））

### ④ 第 3 次東広島市男女共同参画推進計画策定業務（後期実施計画）

（5, 685 千円（前年度 0 千円））

本計画の期間は、令和 2 年度から令和 11 年度までの 10 年間。令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 年間を前期計画期間とし、その最終年度である令和 6 年度にその成果や課題を踏まえ、次の 5 年間を後期計画期間とする実施計画を策定するもの。

令和 5 年度は、市民と事業所の意識及び実態を把握するためのアンケート調査等を行う。

令和 5 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進
施策の将来の目標像	様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が発揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H25年度)	目標値 (R6年度)
	「日常生活の中で、人権が大切にされている」と思う人の割合	41.6%	45.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 平和を希求する人材の育成	主管部局・所属	総務部	総務課
関係部局・所属				

3 目指す姿と戦略

目指す姿	戦争の愚かさや原爆の悲惨さを理解し、平和への願いを語る人材の輩出	現状	啓発や教育機会の不足により、平和を志向する人材が育成できていない。	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
戦争の悲惨さや核兵器の残虐さを知る機会が減少している。	平和に関する啓発の場の確保	高	1	
	平和に関する資料(情報)の確保	低	2	

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 市内小中学校における被爆体験証言講話または巡回原爆展の実施率の倍増(過去開催累積)	15 ( H30 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	70	70	100	100 ( R6 )	%
(4) 市内高等学校における被爆体験証言講話または巡回原爆展の実施率の倍増(過去開催累積)	0 ( R1 )		60	80	100	100 ( R6 )	%
(5) 平和学習バスに参加し、平和の尊さを学び、発信した児童・生徒の数	45 ( R3 )		46	46	92	92 ( R6 )	人

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R4年度		1,589				
		1,589				
R5年度		1,651				
		1,651				



## 概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	③ 平和を希求する人材の育成

事業の概要					
戦略	1 平和に関する啓発の場の確保	予算	1,047 千円	前年度	1,047 千円
事務事業	1-1 平和行政推進事業	予算	1,047 千円	前年度	1,047 千円

### 内容

#### 1-1\_平和に関する事業の推進

戦後 77 年を迎え、戦争の記憶が薄れる中、戦争・被爆体験者から直接、戦争の悲惨さや核兵器の残虐さを聴くことのできる機会を設けるとともに、平和を希求する人材を育成する。

##### ① 市民の記憶の継承 (200 千円 (前年度 200 千円))

平和祈念式典の開催などにより、市民の平和及び核兵器廃絶に対する意識の高揚を図る。

##### ア 戦没者追悼式並びに平和祈念式典の開催

時期：7～8月頃

会場：黒瀬生涯学習センター（健康福祉部共催）



戦没者追悼式並びに平和祈念式典



子ども平和メッセージ

##### イ 被爆ピアノの演奏 (うち 200 千円)

戦没者追悼式並びに平和祈念式典において被爆ピアノを演奏する。



被爆ピアノの演奏と広島大学東雲混声合唱団パストラール、広島大学合唱団  
(令和4年度戦没者追悼式並びに平和祈念式典)



## 事業の概要

### ② 学習の場の提供 (296 千円 (前年度 296 千円))

小中学生をはじめ、市民が平和や非核兵器について学ぶ場を提供する。

#### ア 巡回原爆展の実施 (うち 147 千円)

市内小中学校、高等学校、地域センター等で開催。さらに開催機会の増加を図る。

##### 【活動指標】

開催回数 8 回

※ R 3 実績 5 回、R 4 実績 2 回 (見込)

#### イ 被爆体験証言者の派遣 (うち 149 千円)

市内小中学校、高等学校、大学及び住民自治協議会等へ被爆体験証言者を派遣し、被爆体験の講話を行う。

##### 【活動指標】

派遣回数 6 回

※ R 3 実績 2 回、R 4 実績 2 回 (見込)



巡回原爆展(中学校)



巡回原爆展(高等学校)



被爆体験の講話

### ③ 平和に関する広報 (551 千円 (前年度 551 千円))

「平和・非核兵器都市東広島市宣言」等の周知をはじめ、「原爆の日」・「終戦記念日」における黙とうを呼びかける。

#### ア 都市宣言デジタル表示盤の活用

市役所 2 階渡り廊下に設置した非核・平和都市宣言デジタル表示盤を活用し、平和へのメッセージ等を表示する。

事業の概要														
戦略	2	平和に関する資料(情報)の確保	予算	604千円	前年度 542千円									
事務事業	2-1	平和資料保存事業	予算	604千円	前年度 542千円									
内容														
2-1_平和に関する資料の保存														
<p>原爆被爆資料を保存するとともに、戦争の愚かさと平和の重要性を若い世代に伝承する活動を支援する。併せて、全国の自治体や平和活動団体と連携し、平和・非核兵器に関する情報を確保する。</p> <p>① 原爆被爆資料保存事業等の支援（365千円(前年度 365千円)）</p> <p>東広島市原爆被爆資料保存推進協議会による平和学習活動、原爆被爆資料展示、被爆証言活動等を支援する。</p> <p>ア 平和学習活動</p> <p>市立小中学校の生徒・児童等が参加し、核兵器の悲惨さと平和の尊さを学ぶ、平和学習バスを開催する（7～8月）。</p> <p>【活動指標】</p> <p>児童・生徒数 46人</p> <p>※R3実績 45人、R4実績 45人</p> <p>イ 原爆被爆資料展示</p> <p>市民文化センター内の原爆被爆資料展示室に、遺物や資料を展示し、特別展等を開催する。</p> <p>ウ 被爆証言活動</p> <p>被爆者が自らの体験を次代へ語り継ぎ、戦争の愚かさと恒久平和への道を示す活動を実施する。</p>														
														
平和学習バス		原爆被爆資料展示室		被爆証言活動										
<p>② 平和・非核兵器に関する情報収集の強化（239千円(前年度 177千円)）</p> <p>平和の推進のための全国研修会等へ参加し、他の自治体や平和活動団体との連携を深め、広域的かつ多角的に平和・非核兵器に関する情報を収集する。</p> <p>ア 平和団体との連携（うち 68千円）</p> <p>日本非核宣言自治体協議会、平和首長会議への加盟</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th>加盟自治体数</th> <th>会長都市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本非核宣言自治体協議会</td> <td>350</td> <td>長崎市</td> </tr> <tr> <td>平和首長会議</td> <td>1,737(国内) 8,234(全世界)</td> <td>広島市</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※ 令和5年1月現在</p>						団体名	加盟自治体数	会長都市	日本非核宣言自治体協議会	350	長崎市	平和首長会議	1,737(国内) 8,234(全世界)	広島市
団体名	加盟自治体数	会長都市												
日本非核宣言自治体協議会	350	長崎市												
平和首長会議	1,737(国内) 8,234(全世界)	広島市												

イ 平和に関する国内加盟都市会議（うち 171 千円）

自治体間の連携と情報交換のため、全国規模の研修会等へ参加する。

- ・ 日本非核宣言自治体協議会（研修会）
  - R 4 長崎市（R 4. 5 実施）
  - R 5 長崎市（R 5. 5 予定）
- ・ 平和首長会議（国内加盟都市会議総会）
  - R 4 広島市（R 4. 10 実施）
  - R 5 姫路市（R 5. 10 予定）



R4 平和首長会議(国内加盟都市会議総会)



R4 日本非核宣言自治体協議会(研修会)





概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	2 乳幼児期における教育・保育の充実	① 幼児教育・保育の充実

事業の概要			
戦略	1 乳幼児教育・保育の質の向上(施設における育成支援)	予算 32,547 千円	前年度 21,413 千円
事務事業	1-1 保育の魅力向上推進事業	予算 32,509 千円	前年度 21,377 千円

内容

1-1\_保育の魅力向上の推進

① 保育士等を対象とした研修の充実 (5,958 千円 (前年度 4,914 千円))

ア 子育てサポート研修 (うち 1,767 千円)

保育実践につながる内容の研修を実施する。

(研修コース) 乳児保育、幼児教育、障害児保育、食育・アレルギー、保健衛生・安全対策、保護者支援・子育て支援

【拡】イ キャリアアップ研修 (うち 1,257 千円)

保育士の処遇改善につながるキャリアアップ研修の参加を促進する。

(研修コース) 乳児保育、マネジメント、障害児保育

ウ 東広島市保育コーディネーターを対象とした研修 (うち 189 千円)

施設運営の中核を担う保育コーディネーターの育成、連携を図る研修を行う。

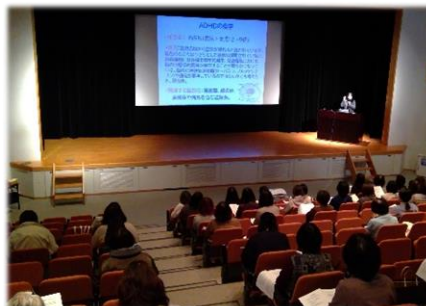
(内容) 保育コーディネーターの役割、ソーシャルワーク、関係機関との連携

エ 施設長のマネジメント力の強化 (うち 408 千円)

施設全体のマネジメントを行う立場にある施設長を対象とした研修を実施する。

② 保育支援アドバイザーによる支援 (2,729 千円 (前年度 2,546 千円))

保育支援アドバイザーの巡回相談等により若手保育士及び保育事業者を支援する。



研修の様子

## 事業の概要

### ③ 保育環境の充実（17,722千円（前年度9,700千円））

#### ア 子どもの5つの力を育む保育環境づくり

保育室及び園庭等の改善により、子どもの豊かな体験を生む環境づくりを支援する。



環境改善をした園庭で遊ぶ子どもたち

#### 【活動指標】

参加施設数 25 施設

※R3 実績 9 施設、R4 実績 17 施設（見込み）

### ④ 未来を担うこどもの育ちサポート（6,100千円（前年度3,381千円））

#### ア 広島大学との連携（Town&Gown）（うち3,000千円（前年度2,500千円））

乳幼児期における教育・保育の質向上のため、大学と連携しながら研究と実践を一体的に推進し、新しい幼児教育・保育モデルを構築する。

#### 【拡】イ 外部講師を活用した所属研修の充実（うち3,100千円（前年度881千円））

公開保育での外部アドバイザーからの指導助言や、大学教授等による研修の機会を設ける。

事業の概要				
戦略	1	乳幼児教育・保育の質の向上(施設における育成支援)	予算 32,547 千円	前年度 21,413 千円
事務事業	1-2	幼保小連携推進事業	予算 38 千円	前年度 36 千円
内容				
1-2_幼稚園、保育所、小学校の連携・接続の推進				
① 幼保小連携の推進(38千円(前年度36千円))				
幼稚園・保育所・認定こども園等から小学校へと円滑な接続を行い、子どもの育ちと学びを連続させていくため、幼保小連携の充実を図る。				
【活動指標】				
幼保小連携担当者研修の実施：1回				
保育公開の実施：28回				





令和 5 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R6年度)
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の児童の割合	11%	9%以下
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の生徒の割合	17%	15%以下

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 学校運営の支援と教育内容の充実	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属	学校教育部 教育総務課	学校教育部	学事課
	学校教育部 学校給食センター		

3 目指す姿と戦略

目指す姿	本市の高い教育水準が維持されるとともに、学校業務の抱え込みを解消することが出来る	現状	校長のマネジメントに支援を要する状況及び高い教育水準の維持が困難な状況が見られる	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
学校運営・教育内容の両面において学校教育の情報化の推進が必要である	学校教育の情報化を活かした未来につながる学校運営・教育内容の展開		高	1
新しい教育課題に対応するためには、教員の力量形成が不可欠である	新しい教育課題に対応するための校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求		高	2
安全かつ魅力的な施設の観点において計画的施設整備が不可欠である	未来的志向での学校施設整備及び長寿命化計画に基づく学校施設の大規模改修		低	3
多様化する教育課題の対応に加え、特色ある教育活動を行うための学校への支援が必要である	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進		低	4

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 全国学力・学習状況調査における正答率40%未満の児童生徒の割合	14 ( R1 )		12.8	12.4	12.0	12.0 ( R6 )	%
(イ) 研修の成果を教育活動に積極的に反映させていると回答する教員の割合	85 ( R1 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	86.2	86.6	87.0	87.0 ( R6 )	%
(ウ) 保護者や地域の人との協働による取組は学校の教育水準の向上に効果があると回答する教員の割合	89 ( R1 )		86.9	90.0	91.0	91.0 ( R6 )	%

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
4年度		4,645,756				
		2,210,553				
5年度		5,520,481				
		2,557,420				

6 戦略を構成する事務事業


(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R4 当初予算額	R5 当初予算額
				R4 決算額	R5 決算額
1-1	10・2・1及び10・3・1 小・中学校情報機器管理事業	教育総務課	3.35	375,173	373,793
1-2	10・1・3 未来の学び推進事業	教育総務課	1.00	42,607	67,598
2-1	10・1・3 学校教育推進事業	指導課	2.13	23,529	19,429
2-2	10・1・3 外国語教育推進事業	指導課	0.75	118,778	109,976
2-3	10・1・3 学校図書館運営事業	指導課	0.50	33,196	37,136
2-4	10・2・2及び10・3・2 小・中学校図書整備事業	指導課	0.40	14,815	17,390
3-1	10・2・3及び10・3・3 小・中学校施設整備事業	教育総務課	3.40	3,502,647	4,362,341
4-1	10・1・3 学校支援センター運営事業	教育総務課	1.00	27,053	32,790
4-2	10・1・3 学校の元気応援事業	指導課	0.83	87,583	114,580
4-3	10・1・3 部活動等支援事業	指導課	0.50	32,222	36,184
4-4	10・1・3 小中一貫教育推進事業	指導課	1.50	5,710	6,278
4-5	10・1・3 教育交流事業	教育総務課	0.25	2,219	1,699
4-6	10・2・1及び10・3・1 小・中学校運営事業	学事課	1.81	66,382	72,385
4-7	10・2・1及び10・3・1 小・中学校通学支援事業	学事課	1.24	210,876	165,320
4-8	10・1・3 学校保健事業	学事課	2.55	102,765	103,419
4-9	10・6・3 学校給食センター食育推進事業	学校給食センター	0.30	201	163
合計			21.51	4,645,756	5,520,481

R5事務事業の分析（差額＝「R5年度当初予算額」－「R5年度決算額」） ※決算額には繰越を含む。		
金額	分析	
3 R5成果指標の分析（成果指標の平均達成率）		
平均達成率	分析	
7 取組の分析		
区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題	課題を踏まえた今後の取組方針	

## 概要シート

まちづくり大綱		施策	目的別事業群
3	人づくり	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	① 学校運営の支援と教育内容の充実

事業の概要				
戦略	1	学校教育の情報化を活かした未来につながる学校運営・教育内容の展開	予算 441,391 千円	前年度 417,780 千円
事務事業	1-1	小・中学校情報機器管理事業	予算 373,793 千円	前年度 375,173 千円
内容				
1-1_小・中学校情報機器の管理				
<p>① 校務用 PC・学習用タブレットの整備及び管理 (187,704 千円 (前年度 198,669 千円))</p> <p>既存機器の管理のほか、小中学校の校務用 PC の更新を行うとともに、学習用タブレットを令和 6 年度に 2 学年分更新するための調達を行う。</p> <p>② 大型提示装置（電子黒板）の整備及び管理 (25,762 千円 (前年度 26,018 千円))</p> <p>既存機器の管理のほか、劣化した機器の更新等を行う。</p> <p>③ 情報通信ネットワーク環境の整備及び管理 (36,706 千円 (前年度 40,172 千円))</p> <p>インターネット回線、貸出用モバイルルータ、無線 LAN アクセスポイント等の管理のほか、長寿命化改修工事等に伴う機器移設等を行う。</p> <p>【拡】④ 統合サーバ・校務支援システムの運用及び管理 (87,621 千円 (前年度 74,314 千円))</p> <p>既存機器の管理のほか、平成 30 年度導入の統合サーバ機器を令和 6 年度に更新するための調達を行う。また、既存の統合サーバ機器や校務支援システム等の保守期間を延長する。</p> <p>⑤ ICT 支援員（環境整備）業務の委託 (36,000 千円 (前年度 36,000 千円))</p> <p>業務委託により ICT 支援員を確保し、環境整備やトラブル対応など ICT 活用を支援する。</p>				
				

事業の概要			
戦略	1 学校教育の情報化を活かした未来につながる学校運営・教育内容の展開	予算 441,391 千円	前年度 417,780 千円
事務事業	1-2 未来の学び推進事業	予算 67,598 千円	前年度 42,607 千円

**内容**

1-2\_未来の学びの推進

① 個別最適な学びの充実に資する実証研究事業  
(35,116 千円 (前年度 34,826 千円))

【新】ア 「学習ログ活用」実証研究事業 (うち 24,757 千円)  
学習の窓口となるポータルサイト (学習 e ポータル) と、それに連携させる AI 技術を用いたデジタルドリルを選定する。また、デジタルドリルや中学校デジタル採点支援システム等による学習ログの活用方法について研究する。

イ ICT 作品コンペ (うち 37 千円)  
青年会議所共催による ICT 作品コンペ (プログラミング、プレゼンテーション、デジタルアート) を実施する。



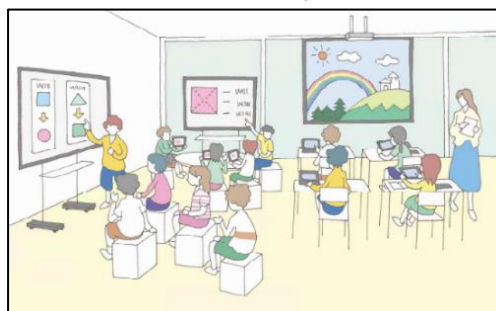
② 協働的な学びの充実に資する学習機会の創出  
(32,482 千円 (前年度 7,781 円))

【新】ア 海外との遠隔交流  
児童生徒のグローバルマインドの育成を目的として、学習した英語を使って海外の学校と交流するモデル事業を実施する。(小中各 1 校程度)

【拡】イ 小中学校における遠隔教育の実施 (うち 3,572 千円)  
外部人材を活用し専門性の高い授業や小規模校同士による遠隔教育を実施する。また、広島大学と連携し実施しているオンライン社会科学習の対象を広げ、遠隔教育の研究を進める。



【新】ウ ラーニングルーム (協働学習ルーム) の整備 (うち 26,400 千円)  
余裕教室等を活用し、遠隔教育を含め、児童生徒が協働的な学びを実施するための部屋を 5 施設整備する。



事業の概要			
戦略	2 新しい教育課題に対応するための校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	予算 183,931 千円	前年度 190,318 千円
事務事業	2-1 学校教育推進事業	予算 19,429 千円	前年度 23,529 千円
内容			
2-1_学校教育の推進			
<p>① 市教育推進指定校による研究公開の実施(1,296 千円(前年度 1,485 千円)) 小中学校における先進的な教育研究と研究公開を支援し、その研究成果を市内へ普及させる。</p> <p><b>【活動指標】</b> 市教育推進指定校による研究公開の実施：5校 (高屋東小、御菌宇小、豊栄小、福富小・中、高美が丘中)</p> <p>② 市教育委員会主催研修の実施(1,309 千円(前年度 1,300 千円)) 全教職員を対象とした研修を実施し、学校教育レベルアッププランを周知するとともに、これからの社会を生きるために重視する資質・能力の育成に必要な専門的な知識を習得させる。</p> <p><b>【活動指標】</b> 全教職員研修の実施：3回 管理職研修の実施：2回</p> <p>③ 標準学力検査(NRT)の実施(7,251 千円(前年度 6,123 千円)) 児童生徒の学習内容の定着状況を把握し、指導内容や指導方法の改善・充実を図るために、標準学力調査(NRT)を実施する。</p> <p>④ 体力向上の推進(190 千円(前年度 190 千円)) 体育・保健体育の授業改善の取組を推進し、授業の質を向上させることで、児童生徒の運動・スポーツへの意欲を高め、体力の一層の向上を図る。</p> <p><b>【活動指標】</b> 小学校体育授業力向上研修の実施：1回 中学校保健体育授業力向上研修の実施：1回</p>			

事業の概要			
戦略	2	新しい教育課題に対応するための校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	予算 183,931 千円 前年度 190,318 千円
事務事業	2-2	外国語教育推進事業	予算 109,976 千円 前年度 118,778 千円
内容			
2-2_外国語教育の推進			
<p>① 外国語指導助手（ALT）の派遣（109,889 千円（前年度 116,981 千円））            外国語教育の充実を図るために、JETプログラムの外国語指導助手（ALT）を小中学校に派遣する。</p> <p>【活動指標】            外国語指導助手（ALT）の派遣：19人            外国語指導助手（ALT）コーディネーターの配置：1人</p> <p>② 外国語指導力向上研修の実施（87 千円（前年度 87 千円））            小中学校における外国語教育の充実及び円滑な接続を推進するために、外国語指導者の指導力を向上させる研修を実施する。</p> <p>【活動指標】            外国語指導力向上研修の実施：1回</p>			

事業の概要							
戦略	新たな教育へ対応するための 2 校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	予算 183,931 千円	前年度 190,318 千円				
事務事業	2-3 学校図書館運営事業	予算 37,136 千円	前年度 33,196 千円				
内容							
2-3_学校図書館運営の推進							
【拡】① 学校司書の配置 (33,271 千円 (前年度 29,323 千円))							
学校図書館の整備や学校図書館を活用した教育の充実を図るために、小中学校に専門的知識を有する学校司書を配置する。							
【活動指標】							
学校司書の配置：小学校 32 校 17 人 (R4 年度：32 校 14 人)							
中学校 14 校 14 人 (R4 年度：14 校 14 人)							
※配置率：1.48 校に 1 人 (国の基準：1.3 校に 1 人)							
○小学校の学校司書数							
	R1	R2	R3	R4	R5 (予定)	R6 (予定)	R7 (予定)
学校司書数	9 人	11 人	11 人	14 人	17 人	19 人	22 人
1 人当たりの校数	3～4 校	3～4 校	3 校	2～3 校	1～2 校	1～2 校	1～2 校
○中学校の学校司書数							
	R1	R2	R3	R4	R5 (予定)	R6 (予定)	R7 (予定)
学校司書数	14 人	14 人	14 人	14 人	14 人	14 人	14 人
配置校	全校配置 (もみじ中学校を除く。)						
② 学校図書館システムの管理運営 (3,865 千円 (前年度 3,873 千円))							
システム保守業務の委託等を通して、もみじ小中学校を除く全小中学校に配備している学校図書館システム探調 TOOL の円滑な運用を図る。							



事業の概要			
戦略	2	新たな教育へ対応するための 校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	予算 183,931 千円 前年度 190,318 千円
事務事業	2-4	小・中学校図書整備事業	予算 17,390 千円 前年度 14,815 千円
内容			
<p>2-4_小・中学校の図書整備</p> <p>① 小・中学校の図書の購入（17,390 千円（前年度 14,815 千円）） 小・中学校図書館の蔵書の充実を図ることにより、児童生徒の読書意欲を喚起し、読書活動の活性化を図る。</p> <p>【活動指標】</p> <p>図書の購入：小学校 4,680 冊 中学校 2,750 冊</p>			

事業の概要			
戦略	3 未来的志向での学校施設整備及び長寿命化計画に基づく学校施設の大規模改修	予算 4,362,341 千円	前年度 3,502,647 千円
事務事業	3-1 小・中学校施設整備事業	予算 4,362,341 千円	前年度 3,502,647 千円
内容			
3-1_小・中学校の施設整備			
① 校舎等整備事業 児童数の増加に対応するため増築工事を行う。			
【新】ア 御園宇小学校増築等設計業務 (うち 30,329 千円)			
イ 西条小学校増築等工事 (うち 448,500 千円)			
	R4	R5	R6
ア御園宇小学校		設計	工事
イ西条小学校	設計	工事	
② 長寿命化改良整備事業			
【新】ア 郷田小学校増築及び長寿命化改良設計業務 (うち 54,944 千円)			
イ 川上小学校増築及び長寿命化改良設計業務 (うち 434,130 千円)			
ウ 東西条小学校長寿命化改良工事 (うち 1,269,679 千円)			
エ 西条中学校長寿命化改良工事(屋体空調整備を含む。) (うち 1,270,254 千円)			
	R4	R5	R6
ア郷田小学校		設計	工事
イ川上小学校	設計		工事
ウ東西条小学校		工事	
エ西条中学校		工事	
【新】③ 小中学校トイレ集中環境改善事業 (うち 141,885 千円)			
洋式化、乾式化、省エネ化(照明、自動水栓等)などトイレの環境改善を集中的に進める。			
	R5	R6	概要
第1期	設計・工事	リース料	R5 : 第1期 小学校9校 中学校2校
第2期		設計・工事	R6 : 第2期 小学校6校 中学校4校
④ 志和中学校テニスコート整備工事 (うち 151,900 千円)			
隣接地にある志和生涯学習センター解体跡地に、テニスコートを整備する。			
	R4	R5	工事概要
設計	設計		R5事業:テニスコート造成及び屋外照明設置
工事		造成・照明設置	

事業の概要

⑤ 小中学校特別教室空調設備賃貸借事業（うち 267,029 千円）

各小中学校の特別教室等に空調設備を設置する。

	R4	R5	R6	概要
第1期	設計・工事	リース料	リース料	西条・八本松地区 (小学校6校、中学校4校)
第2期		設計・工事	リース料	高屋・河内地区 (小学校8校、中学校4校)
第3期			設計・工事	黒瀬・福富・豊栄・安芸津地区 (小学校5校、中学校4校)

⑥ その他

ア 空調PFI事業（保守管理）（うち 71,131 千円）

イ 安芸津中学校屋内運動場空調設備運営事業（ESCO 事業）（うち 9,993 千円）

ウ 個別改修等（うち 212,567 千円）

- ・ 豊栄小学校屋根防水改修工事
- ・ 吉川小学校プール改修設計
- ・ 平岩小学校プール改修設計
- ・ 西志和小学校校舎等解体工事
- ・ 東志和小学校校舎等解体設計など

事業の概要

戦略	4 特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 532,818 千円	前年度 535,011 千円
事務事業	4-1 学校支援センター運営事業	予算 32,790 千円	前年度 27,053 千円

内容

4-1\_学校運営の支援と教育内容の充実

① 学校支援センターの運営（32,790 千円（前年度 27,053 千円））

ア スクールサポーター（退職教員）による支援（教科指導、学校運営、学校環境整備、部活動支援）

イ 若手教員に対する伴走型支援

ウ 教員に対するICTを活用したオンデマンド型研修の実施

【新】エ ICTを活用した授業づくりに対する支援の充実

国が示す配置基準（4校に1人）に対し、令和7年度の到達を目指して、ICT支援員（授業支援）を2人配置する。（現状：8校に1人）。

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 532,818 千円 前年度 535,011 千円
事務事業	4-2	学校の元気応援事業	予算 114,580 千円 前年度 87,583 千円
内容			
4-2_学校の特色ある教育活動の応援			
<p>① 特色ある学校づくりの支援（8,002 千円（前年度 7,835 千円）） 各学校の特色ある学校づくりを推進するために、外部講師を招聘しての校内研修や一校一和文化学習などの教育活動、環境整備や緑化活動などの取組を支援する。</p> <p>【活動指標】            高度な専門性を有する指導者の派遣：110回            専門性を有する指導者の派遣：160回            マイタウンティーチャー・留学生の派遣：1,400回            学生マイタウンティーチャーの派遣：160回</p> <p>② 学校経営アドバイザーの派遣（11,266 千円（前年度 11,049 千円）） 学校経営や優れた教科指導、生徒指導、部活動指導の力量や経験を有する退職管理職を学校経営アドバイザーとして派遣する。</p> <p>【活動指標】 学校経営アドバイザーの派遣：4人</p> <p>③ 教科等指導支援員の配置（21,436 千円（前年度 21,013 千円）） 教科指導における課題や特別支援学級における教科指導に対応するために、学習指導ができる教科等指導支援員を配置する。</p> <p>【活動指標】 教科等指導支援員の配置：8校8人</p> <p>④ 中学校音楽会の開催（1,577 千円（前年度 1,798 千円）） 音楽会を通して、生徒相互の交流を深めるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、音楽を愛好する心情や態度を育てる。</p> <p>⑤ 小学校陸上・水泳記録会の開催（3,386 千円（前年度 3,047 千円）） 陸上・水泳記録会を通して、児童相互の交流を深めるとともに、運動への意欲を高め、運動能力を向上させる。</p>			

事業の概要

【拡】⑥ 学校運営協議会委員の任用（1,920千円（前年度1,200千円））

学校が地域とともによりよい学校運営を実施するために、学校運営協議会を設置し、委員を任用する。

【活動指標】

学校運営協議会委員の任用：32協議会480人

（R4年度：20協議会300人）

【拡】⑦ コミュニティ・スクール推進員の配置

（66,806千円（前年度41,508千円））

学校運営協議会に係る連絡調整や地域学校協働活動推進員との連携、学校用務など、学校運営の支援を図るために、コミュニティ・スクール推進員を配置する。

【活動指標】

コミュニティ・スクール推進員の配置：32協議会32人

（R4年度：20協議会20人）

○学校運営協議会設置校

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5(予定)
協議会数	1	1	8	11	20	32
設置校数	1	1	9	13	25	38
学校名	風早小	風早小	風早小 高美が丘小・中 福富中 八本松小 小谷小 御菌宇小 上黒瀬小 龍王小	風早小 高美が丘小・中 福富小・中 八本松小 小谷小 御菌宇小 上黒瀬小 龍王小 志和中 河内中 寺西小	風早小 高美が丘小・中 福富小・中 八本松小 小谷小 御菌宇小 上黒瀬小 龍王小 志和小・中 河内小・中・入野小 寺西小 三永小 高屋東小 吉川小 郷田小 板城小 板城西小 乃美尾小 木谷小 三津小	風早小 高美が丘小・中 福富小・中 八本松小 小谷小 御菌宇小 上黒瀬小 龍王小 志和小・中 河内小・中・入野小 寺西小 三永小 高屋東小 吉川小 郷田小 板城小 板城西小 乃美尾小 木谷小 三津小 西条小 原小 高屋西小 川上小 平岩小 東西条小 中黒瀬小 三ツ城小 下黒瀬小 造賀小 八本松中 豊栄小・中

※令和6年度に全ての小中学校に学校運営協議会を設置予定

事業の概要																						
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 532,818 千円	前年度 535,011 千円																		
事務事業	4-3	部活動等支援事業	予算 36,184 千円	前年度 32,222 千円																		
内容																						
4-3_部活動等への支援																						
<p>① 大会や団体への負担金及び補助金の支援(3,524 千円(前年度 3,541 千円))            中学校体育連盟への加盟金を負担する。また、市内で実施される中国中学校駅伝競走大会や小学生体育連盟の事業に対して補助する。</p> <p>② 児童・生徒の大会への派遣費の補助(21,300 千円(前年度 21,300 千円))            中学校体育連盟及び中学校文化部連盟主催の大会等への生徒の参加に係る保護者への負担軽減を図るために、基準に照らし、中学校に派遣費を補助する。また、全国大会へ出場する小学校に派遣費を補助する。</p> <p>【拡】③ 部活動指導員の配置(8,231 千円(前年度 7,381 千円))            部活動を担当する教員の負担軽減や専門性を生かした部活動指導を行うために、部活動指導員を配置する。</p> <p>【活動指標】            部活動指導員の配置：10校10人(R4年度：8校8人)</p> <p>○部活動指導員の配置先等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5(予定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置先</td> <td>八本松中(陸上) 向陽中(テニス)</td> <td>八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 高屋中(野球)</td> <td>八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(野球)</td> <td>八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(野球) 西条中(柔道) 松賀中(柔道) 高美が丘中(野球) 中央中(美術)</td> <td>八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(野球) 西条中(柔道) 松賀中(柔道) 高美が丘中(野球) 中央中(美術) 高屋中(合唱) 志和中(ゴルフ)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2人</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>8人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>						R1	R2	R3	R4	R5(予定)	配置先	八本松中(陸上) 向陽中(テニス)	八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 高屋中(野球)	八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(野球)	八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(野球) 西条中(柔道) 松賀中(柔道) 高美が丘中(野球) 中央中(美術)	八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(野球) 西条中(柔道) 松賀中(柔道) 高美が丘中(野球) 中央中(美術) 高屋中(合唱) 志和中(ゴルフ)	人数	2人	4人	4人	8人	10人
	R1	R2	R3	R4	R5(予定)																	
配置先	八本松中(陸上) 向陽中(テニス)	八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 高屋中(野球)	八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(野球)	八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(野球) 西条中(柔道) 松賀中(柔道) 高美が丘中(野球) 中央中(美術)	八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(野球) 西条中(柔道) 松賀中(柔道) 高美が丘中(野球) 中央中(美術) 高屋中(合唱) 志和中(ゴルフ)																	
人数	2人	4人	4人	8人	10人																	

事業の概要

【新】④ 部活動の地域展開に係る検討会議の開催（615千円）

部活動の地域展開の方針や取組を検討するために、教育委員会、学校、地域、大学及び企業等の代表者による検討会議を開催する。

【活動指標】

部活動の地域展開に係る検討会議の開催：4回

【新】⑤ 部活動の地域展開実践モデル地域の設置（2,514千円）

部活動の地域展開の在り方や方法を研究するために、実践モデル地域を設置する。

【活動指標】

部活動の地域展開実践モデル地域の設置：1地域（志和地域）

○部活動の地域展開グランドデザイン



	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
検討会議の開催	●				→
意識調査等の実施	●				→
実践モデル地域の設置		●			→
受入団体・指導者の確保		●			→
制度設計		●			→

地域のスポーツ・文化芸術活動の展開

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 532,818 千円 前年度 535,011 千円
事務事業	4-4	小中一貫教育推進事業	予算 6,278 千円 前年度 5,710 千円
内容			
4-4_小中一貫教育の推進			
① 小中一貫教育の推進（5,205 千円（前年度 5,710 千円））			
小中一貫教育の推進を図るために、福富地域、志和地域、河内地域における特色ある教育課程の実施を支援する。			
【活動指標】			
特色ある教育課程の実施：福富地域（アントレプレナー教育）			
志和地域（eSTEAM教育）			
河内地域（地域創生プロジェクト）			
【新】② 小中一貫教育シンポジウム（仮称）の開催（543 千円）			
9年間を見通した小中一貫教育の在り方や地域や大学等と連携した特色ある教育課程の取組を広く公開するために、小中一貫教育シンポジウム（仮称）を開催する。			
【活動指標】			
小中一貫教育シンポジウム（仮称）の開催：1回（福富地域）			
【新】③ 小規模校における特色ある教育活動の推進（530 千円）			
小規模校の特性を生かした教育を推進するために、小規模特認校における特色ある教育活動の実施を支援する。			
【活動指標】			
特色ある教育活動の実施：吉川小			
木谷小			



事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 532,818 千円 前年度 535,011 千円
事務事業	4-5	教育交流事業	予算 1,699 千円 前年度 2,219 千円
内容			
4-5_教育交流の推進			
<p>① 姉妹都市等との交流活動実施（1,699 千円（前年度 2,219 千円））</p> <p>姉妹都市である北海道北広島市の小中学校と相互に児童生徒を派遣し、交流することにより、両市の教育の発展と児童生徒の視野の拡大及び友好親善の精神を培う。</p> <p>友好都市である中国四川省徳陽市とオンライン等による教育文化の交流を通じて、互いの友好親善を深める。</p>			
			
		<p>北広島市とのオンライン交流（地域や学校の紹介、姉妹校へ質問する様子）</p>	

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 532,818 千円 前年度 535,011 千円
事務事業	4-6	小・中学校運営事業	予算 72,385 千円 前年度 66,382 千円
内容			
<p>4-6_小・中学校運営の支援</p> <p>① 学校運営体制の確保（62,573 千円（前年度 56,285 千円））</p> <p>【小学校への配置】 看護師 3 人、学校事務職 4 人、養護講師 2 人</p> <p>【中学校への配置】 講師 8 人、学校事務職 5 人、養護講師 1 人</p> <p>② 関係団体への負担金及び補助金（3,443 千円（前年度 3,688 千円））</p> <p>【負担金】</p> <p>広島県連合小学校長会、広島県公立学校校長会連合会、広島県公立中学校長会、広島県公立小・中学校事務長会、広島県小学校教育研究会、広島県中学校教育研究会</p> <p>【補助金】</p> <p>東広島市小学校教頭会、東広島市中学校教頭会、東広島市立学校教育研究会</p>			

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 532,818 千円 前年度 535,011 千円
事務事業	4-7	小・中学校通学支援事業	予算 165,320 千円 前年度 210,876 千円
内容			
<p>4-7_小・中学生への通学支援</p> <p>① 小学校の通学支援（スクールバス・スクールタクシー運行）  (140,185 千円（前年度 178,860 千円））  学校統合等による遠距離通学児童への通学支援  【対象小学校区】  板城小、志和小、中黒瀬小、福富小、豊栄小、河内小、入野小、風早小</p> <p>② 遠距離通学児童生徒の通学費補助（4,060 千円（前年度 4,440 千円））  【小学校】 川上小、中黒瀬小  【中学校】 高屋中、河内中</p> <p>③ 中学校の通学支援（スクールバス運行）（17,233 千円（前年度 23,975 千円））  【対象中学校区】 高屋中</p> <p>④ 自転車通学生徒ヘルメット購入費の補助（2,835 千円（前年度 2,744 千円））  【対象者】 市内全中学校生徒（1,350 人分）  【補助率】 7 割</p>			

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 532,818 千円 前年度 535,011 千円
事務事業	4-8	学校保健事業	予算 103,419 千円 前年度 102,765 千円
内容			
4-8_学校保健の推進			
① 各種健康診断及び各種学校環境衛生検査の実施 (85,954 千円 (前年度 85,191 千円))			
【健康診断実施内容】			
・ 児童生徒等の健康診断 (内科検診、歯科検診、眼科検診、耳鼻科検診、結核検診、尿検査、心音心電図検査)			
・ 就学時の健康診断			
・ 教職員の健康診断、ストレスチェック			
【学校環境衛生検査実施内容】			
・ 空気中の化学物質濃度検査			
・ プール水及び飲料水水質検査			
・ 教室等の環境検査			
② 各種保険等への加入及び関係団体への補助金交付、研修等参加助成 (17,465 千円 (前年度 17,574 千円))			
【加入保険】			
・ 日本スポーツ振興センター災害共済			
・ 全国市長会学校災害賠償補償保険			
【負担金】			
・ 日本スポーツ振興センター			
・ 広島県学校保健会			
・ 衛生推進者・管理者等養成講習会参加費			
【補助金】			
東広島市学校保健会			



令和 5 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R6年度)
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の児童の割合	11%	9%以下
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の生徒の割合	17%	15%以下

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 特別なニーズに対応した教育の充実	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属	学校教育部 教育総務課	学校教育部	学事課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	障害の有無、国籍、家庭の経済事情等にかかわらず、全ての子どもが、夢に向かって自己実現できる教育環境が整う	現状	現代的課題は増加し、学びのセーフティネット構築の必要性が学校教育、社会教育両面で益々求められている		
課題		仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
特別支援教育の専門的な知識及び教育力が不足し、切れ目ない支援体制構築が求められている		特別な支援を要する児童生徒への教育推進		高	1
日本語指導体制の整備が十分とは言えず、子どもや保護者の困り感への対応が必要な状況である		外国につながる児童生徒への教育推進		中	2
経済的な理由により子どもの可能性を伸ばす日常的な学びが保障されていない状況が見られる		学校教育における学力保障、福祉関係機関等との連携強化		低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 特別支援教育の校内支援体制を整備し、特別な支援が必要な児童生徒への支援を適切に行っていると回答する学校の割合	- ( R3 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	94.0	96.0	98.0	98.0 ( R6 )	%
(4) 日本語指導教育の校内支援体制を整備し、外国につながる児童生徒への支援を適切に行っていると回答する学校の割合	- ( R3 )		88.0	90.0	92.0	92.0 ( R6 )	%
(7)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R4年度		586,869				
		577,950				
R5年度		621,341				
		607,977				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R4 当初予算額	R5 当初予算額
				R4 決算額	R5 決算額
1-1	10・1・3 特別支援教育推進事業	指導課	0.60	10,027	10,219
1-2	10・2・2及び10・3・2 小・中学校教育支援者配置事業	指導課	0.85	364,765	385,978
2-1	10・1・3 外国につながる児童生徒への教育推進事業	指導課	0.40	7,243	19,645
3-1	10・2・2及び10・3・2 小・中学校就学支援事業	学事課	2.08	199,536	200,225
3-2	10・1・3 私立学校等助成事業	教育総務課	0.10	5,298	5,274
合計			4.03	586,869	621,341

7 R5事業費の分析（差額＝「R5年度当初予算額」－「R5年度決算額」） ※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R5成果指標の分析（成果指標の平均達成率）

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

## 概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	② 特別なニーズに対応した教育の充実

事業の概要			
戦略	1 特別な支援を要する児童生徒への教育推進	予算 396,197 千円	前年度 374,792 千円
事務事業	1-1 特別支援教育推進事業	予算 10,219 千円	前年度 10,027 千円
内容			
1-1_特別支援教育の推進			
<p>① 特別支援教育サポーター・特別支援教育大学生サポーターの派遣 (6,283 千円 (前年度 6,174 千円))</p> <p>通常の学級や特別支援学級に在籍する発達障害のある児童生徒の学習支援等を行うために、特別支援教育サポーターや特別支援教育大学生サポーターを派遣する。</p> <p><b>【活動指標】</b>                      特別支援教育サポーターの派遣：3,700 時間                      特別支援教育大学生サポーターの派遣：2,400 時間</p>			
<p>② 手話通訳者・要約筆記者の派遣 (410 千円 (前年度 410 千円))</p> <p>学校からの情報を確実に保護者に対して提供するために、手話通訳者や要約筆記者を派遣する。</p> <p><b>【活動指標】</b>                      手話通訳者及び要約筆記者の派遣：100 回</p>			
<p>③ 巡回相談の実施 (173 千円 (前年度 173 千円))</p> <p>発達障害のある児童生徒の理解と指導や支援の向上を図るために、特別支援教育の専門家による巡回相談を実施する。</p> <p><b>【活動指標】</b>                      巡回相談員の派遣：20 回</p>			
<p>④ 教育支援委員会の開催 (183 千円 (前年度 175 千円))</p> <p>障害のある幼児児童生徒に対し、その能力及び特性に応じた適切な教育を行うために、教育支援委員会を設置し開催する。</p> <p><b>【活動指標】</b>                      教育支援委員会の開催：5 回</p>			



## 事業の概要

### ⑤ 特別支援教育担当者研修の実施（41 千円（前年度 28 千円））

特別支援教育の専門性を高め、指導力を向上させるために、特別支援教育担当者を対象とした研修を実施する。

#### 【活動指標】

通級指導教室担当者研修の実施：1 回

特別支援教育担当者研修の実施：2 回

### ⑥ 特別支援教育相談員の配置（2,849 千円（前年度 2,797 千円））

障害のある幼児児童生徒の教育相談及び教育支援委員会に係る業務を充実させるために、特別支援教育相談員を配置する。

#### 【活動指標】

特別支援教育相談員の配置：1 人

### ⑦ 特別支援教材教具制作の支援（280 千円（前年度 270 千円））

特別支援学級の学習活動の充実を図るために、教材や教具の開発等に向けた取組への支援を実施する。

#### 【活動指標】

特別支援学級への教材教具制作の支援：140 学級

事業の概要					
戦略	1	特別な支援を要する児童生徒への教育推進	予算 396,197 千円	前年度 374,792 千円	
事務事業	1-2	小・中学校教育支援者配置事業	予算 385,978 千円	前年度 364,765 千円	
内容					
1-2_小・中学校教育支援者の配置					
【拡】① 教育補助員の配置 (273,666 千円 (前年度 256,156 千円))					
特別支援学級に在籍する児童生徒の学習や生活の支援を行い、特別支援学級の円滑な運営を図るために、教育補助員を配置する。					
【活動指標】					
教育補助員の配置：小学校 26 校 70 人 (R4 年度：25 校 67 人)					
中学校 10 校 30 人 (R4 年度：10 校 28 人)					
○小学校の特別支援学級数と在籍者数			○中学校の特別支援学級数と在籍者数		
	学級数	在籍者数		学級数	在籍者数
R2	79 学級	290 人	R2	30 学級	91 人
R3	87 学級	366 人	R3	34 学級	102 人
R4	92 学級	416 人	R4	35 学級	133 人
R5 (想定)	93 学級	439 人	R5 (想定)	33 学級	162 人
【拡】② 学校教育支援員の配置 (112,312 千円 (前年度 108,609 千円))					
通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒の多様な課題に対応するために、教職員を補助することのできる学校教育支援員を配置する。					
【活動指標】					
学校教育支援員の配置：小学校 30 校 30 人 (R4 年度：28 校 30 人)					
中学校 10 校 14 人 (R4 年度：10 校 13 人)					
○小学校の通常の学級における支援が必要な児童数			○中学校の通常の学級における支援が必要な生徒数		
	要望校数	対象人数		要望校数	対象人数
R2	30 学校	190 人	R2	10 学校	35 人
R3	31 学校	257 人	R3	10 学校	38 人
R4	31 学校	260 人	R4	10 学校	45 人
R5 (想定)	31 学校	270 人	R5 (想定)	10 学校	52 人

事業の概要				
戦略	2	外国につながる児童生徒への教育推進	予算 19,645 千円	前年度 7,243 千円
事務事業	2-1	外国につながる児童生徒への教育推進事業	予算 19,645 千円	前年度 7,243 千円
内容				
2-1_外国につながる児童生徒への教育推進				
【拡】① 日本語指導拠点校の設置（11,935 千円（前年度 3,077 千円））				
日本語指導に係る研究を推進するために、日本語指導拠点校を設置するとともに、外国につながる児童生徒への支援を充実するために、学校教育支援員を増員する。				
【活動指標】				
日本語指導拠点校の設置：1 校（三ツ城小学校）				
学校教育支援員の配置：5 人（日本語指導教室設置校 5 校）				
（R 4 年度：1 人）				
【拡】② 日本語初期指導教室指導員の派遣（5,966 千円（前年度 3,745 千円））				
来日して間もない児童生徒に学校生活や日本語に係る指導を行い、学校への早期適応を図るために、日本語初期指導教室へ指導員を派遣する。				
【活動指標】				
日本語初期指導教室指導員の派遣：3 人				
○日本語指導が必要な児童生徒数				
	R 1	R 2	R 3	R 4（9月末）
小学校	121 人	138 人	132 人	151 人
中学校	19 人	30 人	25 人	35 人
計	140 人	168 人	157 人	186 人
○日本語初期指導教室への入級児童生徒数				
	R 1	R 2	R 3	R 4（9月末）
小学校	—	7 人	20 人	21 人
中学校	—	3 人	6 人	6 人
計	—	10 人	26 人	27 人
③ 通訳者・支援員の派遣（419 千円（前年度 372 千円））				
日本語の理解が十分でない児童生徒や保護者に対し、学校生活への適応や教育環境の充実の支援のために、通訳者や支援員を派遣する。				
【活動指標】				
通訳者の派遣：60 回				
支援員の派遣：30 回				
④ 日本語指導教育研修の実施（88 千円（前年度 49 千円））				
外国につながる児童生徒への理解や日本語指導の指導力の向上を図るために、日本語指導学級や該当児童生徒の学級担任を対象に研修を実施する。				
【活動指標】				
日本語指導教育研修の実施：1 回				

### 事業の概要

**【新】⑤ 日本語指導コーディネーターの配置（1,237千円）**

日本語初期指導教室に係る連絡調整、通訳者・支援員の派遣、大学等との連携などを専門的に担当し、市全体の日本語指導体制の充実を図るために、指導課に日本語指導コーディネーターを配置する。

**【活動指標】**

日本語指導コーディネーターの配置：1人

○日本語指導コーディネーターの想定業務

業務	内容
日本語初期指導教室	児童生徒及び保護者との連携、指導員との連携、教材の作成等
通訳者・支援員	通訳者・支援員の派遣
大学との連携	日本語指導ボランティアの派遣
学校との連携	学校からの相談対応（準備物、諸費等）、編入連携
保護者との連携	学校への提出書類等の説明

### 事業の概要

<b>戦略</b>	3	学校教育における学力保障、福祉関係機関等との連携強化	予算 205,499 千円	前年度 204,834 千円
<b>事務事業</b>	3-1	小・中学校就学支援事業	予算 200,225 千円	前年度 199,536 千円

### 内容

3-1\_小・中学校の就学支援（200,225千円（前年度199,536千円））

- ① 経済的理由により就学が困難と認められる児童・生徒の保護者への学用品費等の支給
- ② 特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者への学用品費等の支給

事業の概要			
戦略	3	学校教育における学力保障、福祉関係機関等との連携強化	予算 205,499 千円 前年度 204,834 千円
事務事業	3-2	私立学校等助成事業	予算 5,274 千円 前年度 5,298 千円
内容			
3-2_私立学校等への助成			
<p>① 賀茂高等学校定時制後援会への補助金交付（200 千円（前年度 188 千円））</p> <p>【補助内容】 講演会の開催、部活動全国大会遠征等に要する経費</p> <p>② 近畿大学附属広島高等学校東広島校及び呉武田学園武田高等学校への補助金交付（2,074 千円（前年度 2,110 千円））</p> <p>【補助内容】 教材費、教育研究機器などの購入に要する経費</p> <p>③ 賀茂北高等学校の活性化に係る補助金交付（3,000 千円（前年度 3,000 千円）） 県央の進学先である賀茂北高等学校の魅力向上への支援として、地域が運営する生徒の自学自習の場での資格取得、通信講座の受講等に要する費用を補助する。</p>			

令和 5 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R6年度)
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の児童の割合	11%	9%以下
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の生徒の割合	17%	15%以下

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 地域と連携した青少年健全育成の環境づくり	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属	生涯学習部 青少年育成課	生涯学習部	生涯学習課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	地域及び関係諸機関との連携体制が整い、青少年の健全な育成が図られる	現状	全国や県に比して良好な傾向ではあるが青少年問題の課題は増加し、憂慮される	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	個々の児童生徒の状況に対応するための校内の仕組づくりが十分とは言えない	個に応じた生徒指導の充実	高	1
	家庭教育充実に資する保護者への啓発活動推進が十分とは言えない	安全・安心に過ごせる児童生徒の居場所づくり	中	2
	子どもと地域住民とのつながりや、地域で子どもが活動できる場が求められている	地域学校協働活動の推進と児童の放課後活動の充実	低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 自分でやると決めたことはやり遂げるようにすると回答する児童生徒の割合	88 ( R3 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	89	90	91	91 ( R6 )	%
(イ) 将来の夢や目標を持っていると回答する児童生徒の割合	84 ( R1 )		85	85	85	85 ( R6 )	%
(ウ) 放課後子供教室が放課後児童クラブと同じ敷地内等で連携した数	10 ( R4 )		10	17	17	17 ( R6 )	箇所

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	4年度		75,720			
			63,562			
	5年度		85,076			
			72,530			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R4 当初予算額	R5 当初予算額
				R4 決算額	R5 決算額
1-1	10・1・3 生徒指導推進事業	指導課	2.95	51,579	59,289
2-1	10・5・1 青少年健全育成事業	青少年育成課	0.90	3,781	4,367
2-2	10・5・1 青少年健全育成団体支援事業	青少年育成課	0.60	2,409	2,909
3-1	10・5・1 放課後子供教室運営事業	青少年育成課	0.50	14,338	15,062
3-2	10・5・1 地域学校協働活動推進事業	生涯学習課	0.50	3,613	3,449
合計			5.45	75,720	85,076

7 R5事業費の分析（差額＝「R5年度当初予算額」－「R5年度決算額」） ※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R5成果指標の分析（成果指標の平均達成率）

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

## 概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	③ 地域と連携した青少年健全育成の環境づくり

事業の概要				
戦略	1 個に応じた生徒指導の充実	予算	59,289千円	前年度 51,579千円
事務事業	1-1 生徒指導推進事業	予算	59,289千円	前年度 51,579千円

### 内容

#### 1-1\_生徒指導の推進

##### 【拡】① 校内特別支援教室の設置（525千円（前年度445千円））

不登校等児童生徒の社会的自立を促すために、校内特別支援教室（スペシャルサポートルーム）を設置する。

##### 【活動指標】

校内特別支援教室の設置：小学校6校（R4年度：5校）

中学校4校（R4年度：3校）

#### ○校内特別支援教室の設置校

	小学校		中学校			
	市	計	市	計	県	計
R 1	—	0校	—	0校	八本松中・高屋中	2校
R 2	西条小・三ツ城小	2校	黒瀬中・中央中	2校	八本松中・高屋中	2校
R 3	西条小・三ツ城小・川上小	3校	黒瀬中・中央中・西条中	3校	八本松中・高屋中	2校
R 4	西条小・三ツ城小・川上小 高屋西小・中黒瀬小	5校	黒瀬中・中央中・西条中	3校	八本松中・高屋中・ 向陽中・高美が丘中	4校
R 5 (予定)	西条小・三ツ城小・川上小 高屋西小・中黒瀬小 龍王小	6校	黒瀬中・中央中・西条中 磯松中	4校	八本松中・高屋中・ 向陽中・高美が丘中	4校
～R 7 (予定)	西条小・三ツ城小・川上小 高屋西小・中黒瀬小 龍王小・寺西小・八本松小 高美が丘小	9校	黒瀬中・中央中・西条中・磯松中・ 松賀中		八本松中・高屋中・向陽中	8校

※ 校内特別支援教室については、不登校等児童生徒は学校の規模に応じて一定数みられることから、現段階では、令和7年度までに、児童数500人以上の小学校9校、生徒数400人以上の中学校8校での設置を目指す。

#### ○不登校児童生徒数及び校内特別支援教室の利用児童生徒数

		R 2	R 3	R 4 (9月末)
不登校児童生徒数	小学校	77人	105人	62人
	中学校	135人	202人	151人
	計	212人	307人	213人
校内特別支援教室 利用児童生徒数	小学校	28人	46人	44人
	中学校	28人	72人	32人
	計	56人	118人	76人

※ 「校内特別支援教室利用児童生徒数」とは、一度でも利用したことのある児童生徒数をいう。



## 事業の概要

### 【拡】② 心のサポーターの配置（26,690千円（前年度 23,194千円））

児童生徒、保護者及び教職員の抱える悩みへの相談など教育相談体制の充実を図るために、全小中学校に心のサポーターを配置する。

#### 【活動指標】

心のサポーターの配置：小学校10,100時間

（R4年度：9,230時間）

中学校9,240時間

（R4年度：8,050時間）

#### ○心のサポーターの配置校数

		1週あたりの勤務日数	校数
R5(予定)	小学校	隔週1日～毎週1日（各日4時間）	26校
	中学校	毎週2日～3日（各日4時間）	10校
	小・中SSR設置校	毎週5日（各日6時間）	10校

※ 心のサポーターについては、全ての小中学校に配置している。今後、校内特別支援教室の設置の拡充に伴い、計画的に配置時間を拡充する。

### 【拡】③ スクールソーシャルワーカーの派遣（11,858千円（前年度 10,204千円））

学校・家庭・関係機関等のネットワークを構築し、児童生徒の自立に向けた支援を行うために、スクールソーシャルワーカーを派遣する。

#### 【活動指標】

スクールソーシャルワーカーの派遣：2,862時間

（R4年度：2,544時間）

#### ○スクールソーシャルワーカーの配置状況

	市（派遣型）	県（配置型）	
	配置人数	配置人数	配置校
R1	4人	2人	八本松中・高屋中
R2	5人	3人	八本松中・高屋中・黒瀬中
R3	5人	3人	八本松中・高屋中・黒瀬中
R4	6人	4人	八本松中・高屋中・黒瀬中・松賀中
R5(予定)	6人	4人	八本松中・高屋中・黒瀬中・松賀中

※ 県のSSWは配置型で、配置校の中学校区を担当している。今後、全ての中学校区に配置できるように継続的に県教育委員会に要望する。

※ 市のSSWは派遣型で、学校だけでは解決が困難なケースの場合に、必要に応じて市から学校に派遣している。今後、支援の状況等に応じて、計画的に派遣時間を拡充する。

#### ○スクールソーシャルワーカーの活動実績

	連携回数	連携時間	対象者数（実人数）	対象者数（延べ数）
R1	1,146回	1,083時間	78人	1,824人
R2	1,592回	1,431時間	106人	2,258人
R3	3,010回	2,239時間	114人	3,821人

### ④ 児童青少年総合相談室の設置（3,669千円（前年度 3,681千円））

保護者等の多様な教育相談のニーズに対応するために、児童青少年総合相談室を設置し、教育相談員やカウンセラーを派遣する。

#### 【活動指標】

教育相談員の派遣：1日（5.5時間）×週4日

カウンセラーの派遣：1日（3時間）×週2日

## 事業の概要

- ⑤ 校外適応指導教室の設置（11,170 千円（前年度 10,911 千円））  
不登校等児童生徒の社会的自立を支援するために、学習指導や体験活動を行う校外適応指導教室（フレンドスペース）を設置する。  
【活動指標】  
校外適応指導教室の設置：3 地域（西条・黒瀬・豊栄）・指導員 7 人
- ⑥ スクールガードリーダーの派遣（496 千円（前年度 437 千円））  
学校の防犯や非行防止に関する取組の充実を図るために、小中学校にスクールガードリーダーを派遣する。  
【活動指標】  
スクールガードリーダーの派遣：4 8 回
- ⑦ 学校安全ボランティアの配置（190 千円（前年度 184 千円））  
児童生徒の通学の安全を高めるために、登録した学校安全ボランティアに見守りを依頼する。  
【活動指標】  
学校安全ボランティアの登録：約 1 4, 0 0 0 人
- ⑧ 生徒指導教育研究実践校の指定（464 千円（前年度 464 千円））  
学校における生徒指導に係る取組の充実を図るために、生徒指導教育研究実践校を指定する。  
【活動指標】  
生徒指導教育研究実践校の指定：1 校
- ⑨ 生徒指導主事等研修の実施（103 千円（前年度 233 千円））  
生徒指導上の諸課題の未然防止及び対応に係る研修を通して、生徒指導主事等としての資質・能力の向上を図る。  
【活動指標】  
生徒指導主事等研修の実施：1 回
- ⑩ いじめ防止に向けた取組の支援（1,059 千円（前年度 1,060 千円））  
各小中学校におけるいじめ防止に向けた児童生徒による主体的な活動やいじめの再発防止に係る取組を支援する。  
【活動指標】  
いじめ防止に向けた取組の支援：2 0 校

## 事業の概要

### 【新】⑪ 生徒指導アドバイザーの配置（2,524 千円）



いじめ、暴力行為、不登校など生徒指導上の諸課題が複雑化、多様化し、学校への支援や保護者及び関係機関等との連携が急増していることなどから、市全体の生徒指導體制の充実を図るために、指導課に生徒指導アドバイザーを配置する。

#### 【活動指標】

生徒指導アドバイザーの配置：1人

#### ○生徒指導アドバイザーの想定業務

業務	内容
生徒指導上の諸課題への対応	生徒指導上の諸課題に対する学校や保護者等との連携
不登校等児童生徒への支援	校外適応指導教室、フリースクール等との連携
関係機関等との連携	こども家庭センター、警察、医療、福祉機関等との連携
生徒指導に係る事務	生徒指導上の諸課題の集約・分析等

事業の概要				
戦略	2	安全・安心に過ごせる児童生徒の居場所づくり	予算 7,276 千円	前年度 6,190 千円
事務事業	2-1	青少年健全育成事業	予算 4,367 千円	前年度 3,781 千円
内容				
2-1_青少年健全育成を支える環境づくり				
① 児童青少年センター活動の充実 (1,254 千円 (前年度 1,228 千円))				
ア 児童厚生員の配置 (うち 1,173 千円)				
保育士資格を持つ児童厚生員が、育児や保護者自身の悩み等の相談に対応する。				
勤務日時：毎週火・木・日曜日 10時30分から17時				
【活動指標】				
・対象 乳幼児の保護者				
・場所 児童青少年センター				
・相談者数 のべ250人				
※R3実績：のべ245人、R4実績：のべ230人(見込)				
イ 児童生徒等の異年齢集団による活動 (うち 81 千円)				
(ア) ゆーすふる・チャレンジャー開催 (うち 0 千円)				
児童青少年センターを拠点に活動する、青少年のボランティアグループが、幼稚園や保育園の児童、小学生等向けの行事などを企画・運営し、異年齢交流を行う。				
【活動指標】				
・対象 中学生から24歳以下の若者				
・場所 憩いの森公園ほか				
・デイキャンプ小学生参加者数 30人				
※R4実績：27人				
				
ゆーすふる・チャレンジャーの様子				
(イ) 親子わくわく講座開催 (うち 81 千円)				
親子や保護者同士のふれあいを深めることを目的として、月1回、ものづくりや体験活動に係る講座を行う。				
【活動指標】				
・対象 未就学児とその保護者				
・場所 児童青少年センター				
・回数 12回 216人				
※R3実績：7回 90人、				
R4実績：12回 194人(見込)				
				
親子わくわく講座の様子				
② 地域の安全・安心の推進 (2,528 千円 (前年度 2,553 千円))				
ア 青少年指導員による巡視活動 (うち 2,200 千円)				
青少年指導員(8人)が駅前や商業施設等を中心に巡回し、青少年への声かけ活動や補導・指導などの街頭補導活動を行う。				

【活動指標】

- ・対象 市内の青少年
- ・場所 市内各地域
- ・回数 1,200回
- ※R3実績：1,265回
- R4実績：1,180回（見込）



巡視活動の様子

イ 青少年問題協議会の開催（うち85千円）

地方青少年問題協議会法に基づく東広島市青少年問題協議会を設置し、青少年に係る状況や市の事業等についての意見交換等を行う会議を年1回程度開催する。

【活動指標】

- ・対象 会長（市長）ほか委員16人
- ・場所 市役所
- ・回数 1回
- ※R4実績：1回

議題：青少年の地域活動の「体験の場」づくり



異年齢との交流

【新】③ 青少年の地域活動・交流の推進（585千円（前年度0千円））

ア 青少年の地域活動の「体験の場」の提供（うち419千円）

青少年が地域活動を通じて様々な経験をしたり、年齢や世代が異なる人たちと交流することにより、自己成長の促進や生きる力を養うことを目的として、様々な地域活動の体験が可能な「体験の場」を提供する。

【活動指標】


- ・対象 市内の高校生
- ・場所 放課後子供教室やイベント・行事会場
- ・回数 3回 60人

イ 青少年を対象とした地域活動参画に係る講座の開催（うち166千円）

地域活動に対し興味を持ってもらうきっかけづくりを目的として、市内の既存施設を活用して青少年の活動拠点となる場に位置付け、地域活動参画に係る講座を開催する。

【活動指標】

- ・対象 市内の高校生
- ・場所 児童青少年センターなど
- ・回数 10回 100人

事業の概要				
戦略	2	安全・安心に過ごせる児童生徒の居場所づくり	予算 7,276 千円	前年度 6,190 千円
事務事業	2-2	青少年健全育成団体支援事業	予算 2,909 千円	前年度 2,409 千円
内容				
2-2_青少年健全育成団体の支援				
<p>① 青少年健全育成団体への財政支援（2,909 千円（前年度 2,409 千円））</p> <p>青少年が豊かな創造力と自主性を持った社会の一員となるよう、青少年健全育成の活動団体へ財政支援を行う。</p> <p>ア 青少年育成東広島市民会議（うち 1,210 千円）</p> <p>国・県・市の施策に呼応して次代を担う青少年の非行防止や健全育成を目的として、研修会や講演会、巡回指導、各種啓発活動を行う当該団体に対して助成を行う。</p>				
				
			<p>あいさつ・声かけ運動</p>	
<p>イ “社会を明るくする運動” 東広島推進委員会（うち 513 千円）</p> <p>青少年健全育成活動及び更生保護活動によって犯罪の未然防止や罪を犯した人たちの更生に理解を深めることを目的として、各種啓発活動を実施する当該団体に対して助成を行う。</p>				
				
			<p>作文・標語コンテスト表彰式</p>	
<p>ウ 各種団体助成（うち 668 千円）</p> <p>女性連合会及びPTA連合会に対して助成を行う。</p>				
<p>【新】エ 第71回日本PTA全国研究大会広島大会実行委員会（うち 500 千円）</p> <p>次代を担う子どもたちの育成のため、激変する時代に対応できる学習力・判断力・実行力を兼ね備えたPTAの創造を考えることを目的とした第71回日本PTA全国研究大会広島大会の実行委員会に対して助成を行う。</p>				



事業の概要				
戦略	3	地域学校協働活動の推進と児童の放課後活動の充実	予算 18,511 千円	前年度 17,951 千円
事務事業	3-1	放課後子供教室運営事業	予算 15,062 千円	前年度 14,338 千円

内容

3-1\_児童の放課後活動の充実

① 放課後子供教室の実施 (15,062 千円 (前年度 14,338 千円))

地域と学校の連携・協働のもと、幅広い地域住民が参画し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域の交流を促進する。

放課後子供教室のない小学校区へ同教室を開設し、その際は放課後児童クラブとの連携を推進する。

また、実施にあたっては、社会性や豊かな人間性を育むことで生きる力を養うことを目的に、大学生、高校生の参画による異年齢交流を図る。

【活動指標】

- ・対象 地域・学校
- ・場所 市内の各小学校区
- ・教室数 7 教室増 (放課後児童クラブと同じ敷地等で連携 17 教室へ)

※ R3 実績：増減なし

R4 実績：1 教室増、2 教室減(連携 10 教室へ) (見込)

番号	学校名	放課後子供教室	いきいきとの連携状況 ※
1	西条		
2	寺西	R5	
3	郷田	○	○
4	板城	○	○
5	三永	○	◎
6	東西	○	◎
7	平岩	○	○
8	御蘭	○	◎
9	川上	○	○
10	原		
11	吉川	○	◎
12	八本	○	○
13	志和	○	◎
14	小谷	○	○
15	高屋東	○	◎
16	高屋西	○	○
17	造賀		
18	高美が	○	○
19	三ツ城	○	◎
20	板城西	R5	
21	上黒瀬	R5	
22	乃美尾	R5	
23	中黒瀬		
24	下黒瀬		
25	福富	R5	
26	豊栄	○	○
27	河内	○	◎
28	入野	○	○
29	木谷	○	◎
30	三津	R5	
31	風早	○	◎
32	龍王	R5	


※ 放課後子供教室と同じ敷地等で連携 ◎ 別の敷地で連携 ○



地域探検



星座早見表づくり

事業の概要				
戦略	3	地域学校協働活動の推進と児童の放課後活動の充実	予算 18,511 千円	前年度 17,951 千円
事務事業	3-2	地域学校協働活動推進事業	予算 3,449 千円	前年度 3,613 千円
内容				
3-2_地域学校協働活動の推進				
① 地域学校協働活動体制の構築 (3,449 千円 (前年度 3,613 千円))				
地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員をコミュニティ・スクール導入校に配置し、地域学校協働活動の企画・連絡調整を行う。				
【活動指標】				
・ 推進員数 13 人増 合計 33 人				
※実績 (R4) 10 人増 合計 20 人				
【主な地域学校協働活動の内容】				
あいさつ・声かけ・見守り活動、環境美化活動、自生地の保全活動、多様な体験学習 (収穫体験・郷土学習・環境教室・防災教室・水辺教室など)				
				
消えゆくホボロ島についての学習 (木谷小学校)		大根と落花生の収穫 (河内中学校)		





令和 5 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	4 新たな価値を創造する人材の育成
施策の将来の目標像	多くの子どもたちが最先端技術に関心を持ち、行政と地域の大学や試験研究機関、企業等が連携し、質の高い学びの機会が提供されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 ( R 1 年度 )	目標値 ( R 6 年度 )
	「授業によって、自ら課題を設定し、その解決に向けて友達と協力し、解決する力を高められている」と回答した児童・生徒の割合	—	80%以上

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 理科系教育分野等の教育内容の充実	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	世界基準で活躍できる人材育成に根差した教育が学校内外で行われ、児童生徒の理科系教育への興味関心が高まる	現状	理科系教育への関心・意欲が高いとは言えず、理科・算数・数学の高水準学力を維持することが懸念される	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
理科系教育の魅力を強く感じられるような授業が十分に行えているとは言えない	子どもたちの理科系教育分野への興味・関心醸成		中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 授業によって、自ら課題を設定し、その解決に向けて友達と協力し、解決する力を高められていると回答する児童生徒の割合	80.1 ( R 2 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	82.0	83.0	84.0	84.0 ( R 6 )	%
(4) 理科の勉強は好きであると回答する児童生徒の割合	82.0 ( R 1 )		83.5	84.0	84.5	84.5 ( R 6 )	%
(5)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 4 年度			6,159			
			5,789			
R 5 年度			6,346			
			5,914			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R4 当初予算額	R5 当初予算額
				R4 決算額	R5 決算額
1-1	10-1-3 科学の芽育成事業	指導課	1.00	6,159	6,346
合計			1.00	6,159	6,346

7 R5事業費の分析（差額＝「R5年度当初予算額」－「R5年度決算額」）

※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R5成果指標の分析（成果指標の平均達成率）

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	4 新たな価値を創造する人材の育成	① 理科系教育分野等の教育内容の充実

事業の概要			
戦略	1 子どもたちの理科系教育分野への興味・関心醸成	予算 6,346 千円	前年度 6,159 千円
事務事業	1-1 科学の芽育成事業	予算 6,346 千円	前年度 6,159 千円

内容

1-1\_児童生徒の科学の芽育成

① 科学の芽育成講座の実施 (5,049 千円 (前年度 5,046 千円))

児童生徒の科学に対する興味・関心を高めるために、大学や企業が有する専門的知識や技術を活用し、出前講座を実施する。

【活動指標】

科学の芽育成講座の実施：70 学級

○科学の芽育成講座の実績

	R 1	R 2	R 3	R 4
小学校	21 校 48 学級	13 校 26 学級	11 校 24 学級	16 校 38 学級
中学校	2 校 6 学級	なし	1 校 1 学級	6 校 23 学級
計	23 校 54 学級	13 校 26 学級	12 校 25 学級	22 校 61 学級

② 理科観察実験アシスタントの配置 (1,297 千円 (前年度 1,113 千円))

理科の授業における観察や実験を充実させるために、理科の専門性を有する大学院生等を理科観察実験アシスタントとして小学校に配置する。

【活動指標】

理科観察実験アシスタントの配置：8 人



令和 5 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	4 新たな価値を創造する人材の育成
施策の将来の目標像	多くの子どもたちが最先端技術に関心を持ち、行政と地域の大学や試験研究機関、企業等が連携し、質の高い学びの機会が提供されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 ( R 1 年度 )	目標値 ( R 6 年度 )
	「授業によって、自ら課題を設定し、その解決に向けて友達と協力し、解決する力を高められている」と回答した児童・生徒の割合		80%以上

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実	主管部局・所属	生涯学習部 生涯学習課
関係部局・所属	生涯学習部	文化課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市内大学・試験研究機関等との連携により、子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実が図られている	現状	子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の提供が十分ではない	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	児童が参加しやすい講座を提供する必要がある。	創造性豊かな子どもの育成につながる学びの充実	高	1
	大学、試験研究機関等との連携を強化する必要がある。	子どもの興味・関心と創造性を伸ばす講座の充実	低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 出前美術館・博物館、芸術体験事業の満足度の割合	85 ( R1 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	89	90	91	91 ( R6 )	%
(イ) 生涯学習パスポート(小・中学生用)の奨励者の割合	15.4 ( H30 )		17.5	18.0	18.5	18.5 ( R6 )	%
(ウ)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 4 年度			4,506			
			4,506			
R 5 年度			4,584			
			4,584			



概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	4 新たな価値を創造する人材の育成	② 子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実

事業の概要				
戦略	1 創造性豊かな子どもの育成につながる学びの充実	予算	4,015 千円	前年度 4,026 千円
事務事業	1-1 文化芸術体験事業	予算	4,015 千円	前年度 4,026 千円

内容

1-1\_文化芸術体験の振興

① 文化芸術体験の振興 (4,015 千円 (前年度 4,026 千円))

ア どこでも美術館 (うち 121 千円) 【事業团委託】

美術館所蔵作品の図版等を活用した鑑賞教材を用いて、子どもたちが楽しんで作品を鑑賞する会を提供する。

【活動指標】

対象 市内小中学校：23 校



アートカードを活用した授業

イ どこでも博物館 (うち 33 千円)

出土文化財や民具等を学校に持参し、見て触ってその質感を体験することで歴史や文化・文化財への興味を醸成する。

【活動指標】

対象 市内小中学校：6 校



本物の土器に触れる体験

ウ はじめてビジュツカン (うち 3,861 千円)

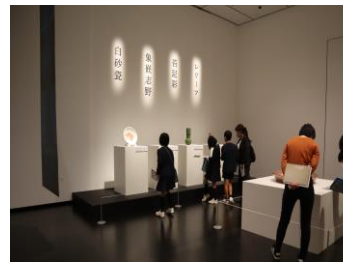
【事業团委託】

市内の小学生を美術館に招待し、美術作品に触れ、子どもたちの感性を養う機会を設ける。

【活動指標】

対象 小学4年生：32 校

(前年度コロナ影響校も対応)



美術館での作品鑑賞体験



事業の概要					
戦略	2	子どもの興味・関心と創造性を伸ばす講座の充実	予算	569 千円	前年度 480 千円
事務事業	2-1	豊かな学び創造事業	予算	569 千円	前年度 480 千円
内容					
2-1_豊かな学びの創造(理系・イノベーションの学びの強化)					
<p>子どもの科学技術への興味・関心や探求心を育むため、大学や研究機関等と連携・協働し、その知見を活用して講座等を実施する。</p> <p>① 宇宙科学講座(272 千円(前年度 282 千円))</p> <p>ア 「ひがしひろしまスペースクラブ」の実施</p> <p>広島大学と連携し、宇宙や天体について、座学や天体観測等を通じて学び、宇宙科学への興味関心を高める講座を実施する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象 小学生 (30 人/クラス)</li> <li>・場所 広島大学、東広島天文台ほか</li> <li>・回数 16 回 (2 クラス×8 回連続講座)</li> </ul>					
			 <p>広島大学 天体望遠鏡</p>		
			 <p>ひがしひろしまスペースクラブの様子</p>		
<p>イ 東広島天文台観望会の開催</p> <p>広島大学と共催し、東広島天文台で“かなた望遠鏡”を活用した天体観測や四次元宇宙シアターの上映など宇宙科学への興味関心を高める特別観望会を開催する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象 小学生以上 (560 人/年)</li> <li>・場所 東広島天文台</li> <li>・回数 4 回程度</li> </ul>					
			 <p>東広島天文台 かなた望遠鏡</p>		

## 事業の概要

### ② 情報科学講座「ひがしひろしま情報みらい塾」の実施

(198 千円(前年度 198 千円))

大学や研究機関の知見を活用し、プログラミングなどの技術を通して、子どもたちの創造力や論理的思考力を養い、情報科学に興味関心を高める講座を実施する。

#### 【活動指標】

- ・対象 小学生 (20 人／各回)
- ・回数 8 回程度



ひがしひろしま情報みらい塾の様子



ひがしひろしま情報みらい塾発表会の様子

### 【新】③ 理系・イノベーション講座(99 千円)

日常生活の中で、理系分野の学問がどのように活用され、生活を豊かにしているかなど、理系分野への興味関心を高める講座を実施する。

#### 【活動指標】

- ・対象 小・中学生 (10 人程度／各回)
- ・回数 50 回程度

(主催講座での実施も含む)



サテライトキャンパス講座「IT を体験しよう」



「アイデアを形にするプログラミング」講座



令和 5 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	5 知的資源と国際性を活かした人づくり
施策の将来の目標像	大学立地などの地域の特性を活かし、その知見を活かした教育が提供され、国際感覚を備え、高度な専門性を身に付けた人材が数多く育っています。		
施策の数値目標	指標	現状値（R1年度）	目標値（R6年度）
	「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」と思う児童の割合	73.3%	80%以上
	「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」と思う生徒の割合	66.8%	70%以上

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 大学・企業等との連携による学びの充実と国際感覚の醸成	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属	生活環境部 市民生活課	生涯学習部	生涯学習課
	生涯学習部 文化課		

3 目指す姿と戦略

目指す姿	大学・企業等との連携により市民の学びが深まるとともに、外国に繋がる人との交流が広がり国際感覚が醸成される	現状	研究資源や高い専門性を持つ人材が「学び」に十分に活かせておらず、国際感覚の醸成も十分高まっているとは言えない。		
課題		仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
本市が有する教育資源の効果的な活用及び連携充実に資する関係部局の協働体制が十分とは言えない		大学等研究機関や各種教育機関・企業と連携した教員研修及び学校の学び充実		高	1
関係機関と連携した国際交流機会を計画的かつ効率的に創出することが十分とは言えない		国際感覚の醸成		中	2
大学や試験研究機関と連携した講座の充実が図られていない		大学や試験研究機関等と連携した豊かな学びにつながる講座の充実		低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 各種主催講座等の受講により、コミュニティ活動に取り組んで行こうとする人の割合	80 ( R1 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	84	85	86	86 ( R6 )	%
(4) 「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」と思う児童・生徒の割合	70 ( R1 )		73	74	75	75 ( R6 )	%
(7) 埋蔵文化財へ興味・関心を持ったと回答した小学生・保護者の割合	90 ( R1 )		93	94	95	95 ( R6 )	%

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R4年度		2,787				
		2,787				
R5年度		2,814				
		2,814				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R4 当初予算額	R5 当初予算額
				R4 決算額	R5 決算額
1-1	10・1・3 未来創造キャリア形成事業	指導課	0.25	413	562
1-2	10・5・5 歴史体験事業	文化課	0.50	152	162
2-1	10・1・3 グローバルマインド育成事業	指導課	0.30	1,224	1,209
2-2	2・1・7 国際理解推進事業	市民生活課	0.10	35	52
3-1	10・5・2 学びのキャンパス推進事業	生涯学習課	0.60	963	829
合計			1.75	2,787	2,814

7 R5事業費の分析（差額＝「R5年度当初予算額」－「R5年度決算額」）

※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R5成果指標の分析（成果指標の平均達成率）

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

## 概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	5 知的資源と国際性を活かした人づくり	① 大学・企業等との連携による学びの充実と国際感覚の醸成

事業の概要					
戦略	1	大学等研究機関や各種教育機関・企業と連携した教員研修及び学校の学び充実	予算	724 千円	前年度 565 千円
事務事業	1-1	未来創造キャリア形成事業	予算	562 千円	前年度 413 千円
内容					
1-1_未来創造及びキャリアの形成					
① 中学生職場体験学習の実施（562 千円（前年度 413 千円）） 働くことの意義を理解し、主体的に進路を決定しようとする意欲をもたせるために、中学校 2 年生を対象に職場体験学習を実施する。					
【活動指標】					
中学生職場体験学習の実施：14 校					

事業の概要					
戦略	1	大学等研究機関や各種教育機関・企業と連携した教員研修及び学校の学び充実	予算	724 千円	前年度 565 千円
事務事業	1-2	歴史体験事業	予算	162 千円	前年度 152 千円
内容					
1-2_歴史の体験					
① 「親と子の体験歴史村」講座の実施（162 千円（前年度 152 千円）） 勾玉作りや火おこし等、親子で古代の人々の生活体験をすることで、埋蔵文化財への興味と関心を高める。					
【活動指標】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象 市内小学 4～6 年生とその保護者（15 組 30 人）</li> <li>・場所 広島大学総合博物館</li> <li>・回数 2 回</li> </ul>					
※実績（R4）2 回：合計 31 組 65 人					
					
火おこし体験の様子			出来上がった「勾玉」		

事業の概要						
戦略	2	国際感覚の醸成	予算	1,261千円	前年度	1,259千円
事務事業	2-1	グローバルマインド育成事業	予算	1,209千円	前年度	1,224千円
内容						
2-1_グローバルマインドの育成						
① 外国語活動協力者の派遣（1,209千円（前年度1,224千円））						
児童のグローバルマインドの涵養を図るために、小学校外国語活動の授業へ外国人の留学生等を派遣する。						
【活動指標】						
外国語活動協力者の派遣時間：790時間						

事業の概要						
戦略	2	国際感覚の醸成	予算	1,261千円	前年度	1,259千円
事務事業	2-2	国際理解推進事業	予算	52千円	前年度	35千円
内容						
2-2_国際理解の推進						
① JICA 研修事業研修員と市民等との交流の促進（52千円（前年度35千円））						
ア 国際協力研修事業への協力による国際理解の促進						
(ア) JICA「排水処理技術コース」への協力による国際理解の促進						
(イ) JICA 中国が実施する各種研修コースへの協力						
【活動指標】						
協力数 5コース程度/年						
※R3 実績5コース、R4 実績7コース（見込）						



事業の概要						
戦略	3	大学や試験研究機関等と連携した豊かな学びにつながる講座の充実	予算	829 千円	前年度	963 千円
			事務事業	3-1	学びのキャンパス推進事業	予算
内容						

### 3-1\_大学と連携した学びの推進

市内の大学と地域・市民の交流や連携を推進するとともに、市民の豊かな学びにつながる講座を提供する。

#### ① 「東広島学」の開催（72 千円（前年度 70 千円））

近畿大学工学部と連携し、市内の各分野で活躍する団体等を講師として、東広島を知り、東広島に愛着を持ってもらう講座を実施する。

##### 【活動指標】

- ・ 場所 近畿大学工学部ほか
- ・ 回数 15 回（連続講座）



SDGs 実践企業～建築廃材のブルーシートが手提げバッグやコンポストバッグに生まれ変わる～

#### ② 「学んで輝くひと・まち塾」ボランティア発見講座の開催（147 千円（前年度 135 千円））

広島国際大学と連携し、市内で活動するボランティア団体等を講師として、自らのボランティア活動や社会への貢献などに関する講座を実施する。

##### 【活動指標】

- ・ 場所 広島国際大学、市内
- ・ 回数 8 回（連続講座）



スポーツで障がい者サポートを体験しよう

#### ③ 「広大マスターズ市民講座」の開催

広島大学マスターズと連携し、その知的資源を活用して市民の高度で多様なニーズに応える生涯学習の機会を提供する。

##### 【活動指標】

- ・ 場所 東広島市市民文化センターほか
- ・ 回数 20 回（5 講座 各講座 4 回連続）



市民に身近な法律問題



④ 「生涯学習サテライトキャンパス講座」の開催

(610千円(前年度574千円))

市内大学の教授等を講師として、専門的な内容を学ぶことができる講座を各地域で開催する。

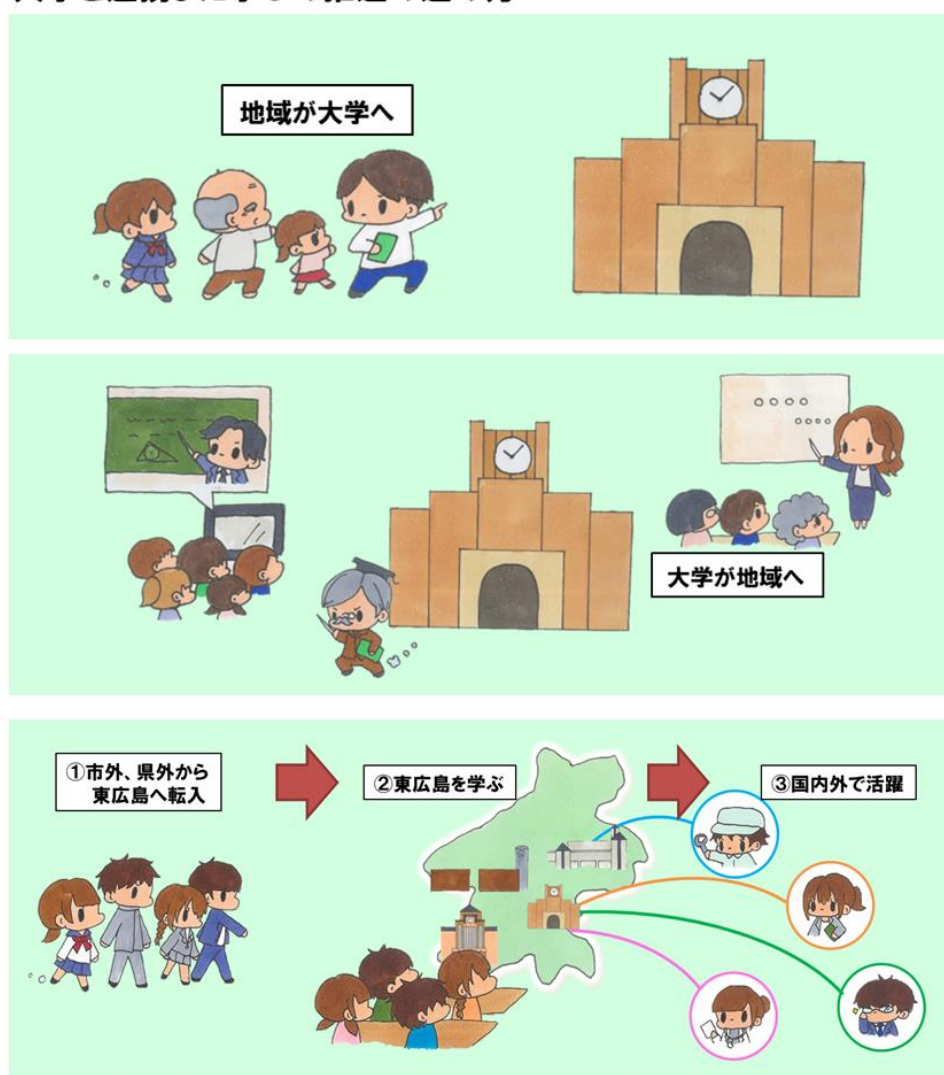
【活動指標】

- ・場所 生涯学習センター、地域センターほか
- ・回数 18回



科学的根拠に基づくウォーキング

大学と連携した学びの推進の進め方



※地域(市民)が大学に来て「学ぶ」こと、大学の教授等が「地域に出て」学びに取り組むこと、そして、東広島市に進学、転入してきた学生たちが、東広島を学び、将来的には国内外で活躍することを目的とし、大学と連携した事業を展開します。

令和 5 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 ( R 1 年度 )	目標値 ( R 6 年度 )
	生涯学習の満足度	61.5%	80.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 生涯を通じて地域で学び、活躍できる環境の整備	主管部局・所属	生涯学習部 生涯学習課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民自ら生涯を通じて学び、活躍できる環境が整っている	現状	市民が主体的に学び、その成果を活かすことのできる学習環境が整備されていない	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
全ての市民にとって魅力ある図書館を整える必要がある	社会情勢や利用ニーズを踏まえた図書館の環境づくり		中	1
学びの循環を促す必要がある	豊かな学びへの支援と学びを通じたつながりの推進		中	2
学びを支える環境づくりが必要	学びを支える環境づくり		低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 生涯学習センター・地域センター等における自主サークル数	664 ( H30 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	690	700	710	710 ( R6 )	団体
(4) レファレンス件数	7,958 ( H30 )		8,470	8,600	8,600	8,600 ( R6 )	件
(5)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)		当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 4 年度	年度	692,762				
	年度	575,781				
R 5 年度	年度	630,521				
	年度	568,030				



## 概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	① 生涯を通じて地域で学び、活躍できる環境の整備

事業の概要			
戦略	1 社会情勢や利用ニーズを踏まえた図書館の環境づくり	予算 328,343 千円	前年度 355,971 千円
事務事業	1-1 図書館管理運営事業	予算 328,343 千円	前年度 355,971 千円

### 内容

#### 1-1\_図書館の管理運営

貸出返却やレファレンス（調査相談）のサービスに加え、地域の情報拠点として市民の課題解決に必要な幅広い資料を収集・整理し、ICTを活用したサービスを提供するとともに、市民と市民、市民と情報など様々なつながりを深める場としての機能の充実を図る。

#### 【拡】① 特色ある図書館づくり（4,973 千円）

##### ア（仮）西高屋情報ラウンジの特色化（うち 4,840 千円）

西高屋駅近隣の学生を対象としたワークショップを開催し、学生の意見を取り入れた備品設置や運営企画の準備を行い、図書館の特色化を図る。



（仮）西高屋情報ラウンジ棟（県道側）



（仮）西高屋情報ラウンジ（自由通路側）

##### イ 電子図書館の拡充（うち 133 千円）

ライセンス購入の電子書籍の搭載に加え、市が発行する計画や報告書などの行政資料や郷土資料をアーカイブし、電子図書館活用の幅を広げるため、電子図書館の容量を増量する。

#### 【活動指標】年間閲覧回数

郷土・行政資料 1,000 回

※R3 実績 424 回

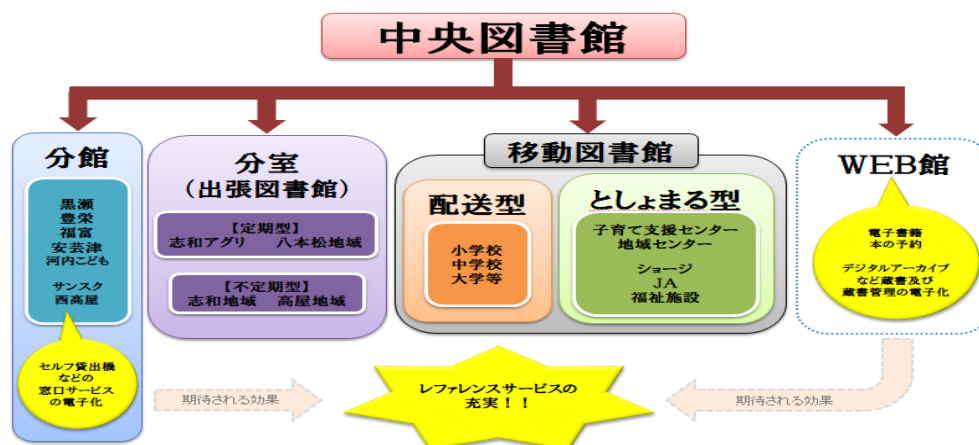


スマートフォンやタブレットでも手軽に閲覧できる電子図書館

#### 【新】② 図書館サービス計画の改訂（1,650 千円）

第3期東広島市図書館サービス計画（R6～R10）の策定支援業務を委託する。

《目指す図書館サービスネットワークの体制図》



③ 図書館の管理運営 (321,720 千円)

ア 指定管理者による管理運営 (うち 301,960 千円)

【対象】 市立図書館全 7 施設

中央図書館(移動図書館、電子図書館、志和アグリ図書館)、サンスクエア 児童青少年図書館、黒瀬図書館(移動図書館)、福富図書館、豊栄図書館、河内こども図書館、安芸津図書館



レファレンスカウンター



セルフ貸出機

事業の概要				
戦略	2	豊かな学びへの支援と学びを通じたつながりづくりの推進	予算 84,733 千円	前年度 92,948 千円
事務事業	2-1	生涯学習活動推進事業	予算 84,733 千円	前年度 92,948 千円
内容				
2-1_生涯学習活動の推進				
<p>学びの弱点分野を強化し、地域や世代ごとの特化した戦略を推進することによって、学びから実践の好循環につなげる。</p> <p>① 戦略的弱点強化 (1,727 千円)</p> <p>ア ひとづくり (うち 528 千円)</p> <p>(ア) 「親の力」をまなびあう学習プログラム等の開催 (うち 293 千円)</p> <p>保護者をはじめ、あらゆる人がそれぞれの立場で「子育て力」を身につける。</p> <p>【活動指標】</p> <p>講座の回数 40 回</p>				
				
			「親の力」をまなびあう学習プログラム	
<p>(イ) ブックデビュー推進講座等の開催 (うち 235 千円)</p> <p>妊娠期からのことばがけの大切さや親子のコミュニケーションの重要性を伝える。</p> <p>【活動指標】</p> <p>講座の回数 40 回</p>				
				
			ブックデビュー推進講座	
<p>イ 主体的教育 (うち 1,199 千円)</p> <p>(ア) 東広島熟年マイスター教育講座の開催 (うち 918 千円)</p> <p>人生 100 年時代を見据え、65 歳以上の市民を対象に、認知症予防、特殊詐欺対策等の現代的課題や健康・スポーツ、地域共生等テーマごとに講座を開催する。</p> <p>【活動指標】</p> <p>講座の回数 30 回</p>				
				
			東広島熟年マイスター教育講座	
<p>(イ) ボランティア活動の推進 (うち 207 千円)</p> <p>ボランティア活動の推進とともに、多様なボランティア活動への理解とネットワークの強化を図り、市民参画によるまちづくりへの発展等を図る。</p>				
				
			ボランティア関連講座	



## 事業の概要

### (ウ) 市民企画講座の実施（うち 74 千円）

市民の学習意欲の向上及び地域への普及が期待される企画講座を募集し、企画者が主体となって講座を実施できるよう運営支援を行う。

#### 【活動指標】

企画講座の支援件数 3 件

### ② 世代の学びの弱点強化（1,949 千円）

#### ア 生涯学習パスポートの活用（うち 1,949 千円）

##### (ア) 【大人版】生涯学習パスポート

自らの生涯学習を記録することで、市民の学習意欲の向上や学習成果の活用につなげることを目的に高校生以上を対象に発行する。

##### (イ) 【子ども版】まなぶちゃんノート、ジュニアパスポート

学んだことを急に実践することは難しいため、まず子どもの時に、様々な体験をし、体験の中で、自分が主体的に学び続けることができるものを見つけるために、まなぶちゃんノート（小学生用）、ジュニアパスポート（中学生用）を発行する。



### ③ 地域課題の弱点強化（69,232 千円）

#### 【新】ア 集合型オンライン講座（うち 645 千円）

生涯学習の推進において、DX を活用し、オンラインと対面で学ぶハイブリッド講座を展開する。

#### 【活動指標】

黒瀬地区におけるオンライン講座の回数 8 回

#### イ 主催講座の開催（うち 21,625 千円）

生涯学習（支援）センター及び地域センター等において地域で抱える課題を解決するための学習機会として講座を開催する。

#### 【活動指標】

主催講座の回数 4,500 回



主催講座

## 事業の概要

### ウ 出前講座の実施（うち 132 千円）

市民団体の求めに応じて、市または協力機関（公的機関・団体）の職員等が講師となり地域へ出向いて講座を実施する。

#### 【活動指標】

出前講座の回数 250 回

### エ 講座サークルガイドブックの発行（うち 770 千円）

講座、イベントなど様々な生涯学習情報を集め、冊子やホームページ等で紹介し、広く市民へ提供する。（年 1 回発行）

### オ 生涯学習推進員等による学びのコーディネート（うち 45,072 千円）

生涯学習推進員等による生涯学習推進体制を構築し、地域の学びを支援する。

### カ 生涯学習センター文化活動振興事業の実施（うち 988 千円）

黒瀬生涯学習センターの施設機能を有効活用し、地域の特徴を踏まえた文化発表及び芸術鑑賞に資する事業を実施する。

#### 【活動指標】

イベントの回数 4 回

## ④ 人権に関する学習機会の充実等（2,795 千円）

### ア 人権講座の開催（うち 429 千円）

人権尊重の理念が日常生活に根付くように多様な学習機会の充実を図る。

#### 【活動指標】

人権講座の回数 42 回

### イ 人権教育研修会の開催等（うち 70 千円）

人権教育研修会の開催や県主催の人権教育指導者研修会への参加を促し、指導者の養成及びその資質の向上を図る。

#### 【活動指標】

研修会の開催等 4 回

### ウ 社会教育関係等研修会の開催等（うち 973 千円）

講座の企画等に必要な知識・技能等に関する実践的な研修の開催や県主催の研修会への参加を促し、専門性の向上と関係職員のネットワークを構築する。

#### 【活動指標】

研修会の開催等 14 回



## 事業の概要

### エ 負担金及び補助金（うち 1,323 千円）

#### (ア) 社会教育関係機関への負担金（うち 323 千円）

広島県公民館連合会等と連携し、研修会等の必要経費を負担する。

#### (イ) ボランティア活動への支援（うち 1,000 千円）

新型コロナウイルス感染症の感染防止に資するボランティア活動へ補助金を交付する。（補助上限額 10 万円／団体）

#### 【活動指標】

交付団体数 10 団体

### ⑤ 発表・学びの場（6,775 千円）

#### ア 生涯学習フェスティバルの開催（うち 6,775 千円）

主体的に学習する意欲を高め、学習活動への参画を促進するために、生涯学習活動の成果発表などを全市的な規模で実施する。



開会式（表彰式）



大ホールイベント

### ⑥ 着実な学びの推進（2,255 千円）

#### 【新】ア 第2期東広島市生涯学習推進計画の策定（うち 2,255 千円）

「学びと実践の好循環」を育むことを目的に、生涯学習の基本計画となる「第2期東広島市生涯学習推進計画」（R6～R10）を策定する。

事業の概要				
戦略	3 学びを支える環境づくり	予算	217,445 千円	前年度 243,843 千円
事務事業	3-1 生涯学習施設管理運営事業	予算	217,445 千円	前年度 243,843 千円
内容				
3-1_生涯学習施設の管理運営				
<p>黒瀬生涯学習センター、豊栄生涯学習センター、安芸津生涯学習センター、創作村、視聴覚ライブラリー、天文台広場、市民文化センター（指定管理）の管理運営を行う。</p>				
<p>① 施設の管理運営（217,445 千円）</p>				
<p>ア 長寿命化改修工事設計（うち 4,400 千円）</p>				
<p>黒瀬生涯学習センターの長寿命化改修工事設計業務委託を行う。</p>				
<p>主な改修内容：トイレ洋式化、屋根外壁防水、ホール天井改修、ホール座席更新、受電設備更新など</p>				
<p>スケジュール：R5～R6 改修設計            （2 か年計 11,000 千円）            R7～R8 改修工事</p>				
				
<p>黒瀬生涯学習センター</p>				



令和 5 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しむ環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 ( R 1 年度 )	目標値 ( R 6 年度 )
	生涯学習の満足度	61.5%	80.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 芸術文化活動の活性化と歴史・文化の伝承	主管部局・所属	生涯学習部 文化課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化	現状	芸術文化関連施設及び文化財関連イベント等の利用者が低迷している。	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
文化芸術の魅力に触れる機会の提供を増やす必要がある。	芸術文化活動の活性化と創造		中	1
文化財に対する保護意識の高揚と公開の環境を整える必要がある。	文化財の保護と活用		中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 市民から要請があり講師派遣等を行った回数	17 ( R1 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	21	22	23	23 ( R6 )	回
(4) 芸術文化ホールくらの若者の利用率	22 ( R1 )		28.3	30.4	32.5	32.5 ( R6 )	%
(7) 美術館満足度	72 ( R2 )		74	78	80	80 ( R6 )	%

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)		当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 4 年度		595,435				
		527,604				
R 5 年度		632,666				
		529,443				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R4 当初予算額	R5 当初予算額
				R4 決算額	R5 決算額
1-1	10・5・1 芸術文化振興事業	文化課	2.10	274,335	310,962
1-2	10・5・3 美術館管理運営事業	文化課	0.96	192,064	236,370
2-1	10・5・5 文化財保存活用事業	文化課	3.38	33,787	31,756
2-2	10・5・5 文化財施設等整備事業	文化課	1.65	54,119	6,084
2-3	10・5・5 東広島市史編さん事業	文化課	6.70	17,228	19,365
2-4	10・5・5 埋蔵文化財調査事業	文化課	6.99	9,528	9,668
2-5	10・5・5 出土文化財管理活用事業	文化課	2.25	14,374	18,461
合計			24.03	595,435	632,666

7 R5事業費の分析（差額＝「R5年度当初予算額」－「R5年度決算額」） ※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R5成果指標の分析（成果指標の平均達成率）

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

## 概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	② 芸術文化活動の活性化と歴史・文化の伝承

事業の概要			
戦略	1 芸術文化活動の活性化と創造	予算 547,332 千円	前年度 466,399 千円
事務事業	1-1 芸術文化振興事業	予算 310,962 千円	前年度 243,427 千円
内容			
1-1_芸術文化の振興			
① 芸術文化の振興 (310,962 千円 (前年度 274,335 千円))			
ア 芸術文化ホールの運営 (うち 299,865 千円)			
(ア) 指定管理による運営 (うち 221,532 千円)			
4つの基本理念に基づき、市民の文化芸術活動の拠点として、市民文化の振興に係る事業展開をしていく。			
a 「ふれる」(鑑賞・普及事業)			
・ 広島交響楽団			
・ アウトリーチ事業等			
b 「そだてる」(育成・交流事業)			
・ ひがしひろしま音楽祭			
・ くららパートナーシッププログラム等			
c 「つくる」(創造・発信事業)			
・ ジュニアオーケストラ事業			
・ くららピアノの日等			
d 「つなげる」(連携・情報事業)			
・ サポートプログラム等			
【活動指標】			
自主事業回数 50 回			
(イ) 特別事業の開催 (うち 10,500 千円)			
自主事業の補助を実施することにより、芸術文化活動の活性化やくららへの来館者の回復を図る。			
・ 大ホールで質の高い公演として国内有数の楽団を招致する等			
(ウ) 施設管理運営 (うち 67,833 千円)			
くららの舞台・音響・照明の機器の長寿命化計画に基づく修繕等を実施する。			



広島交響楽団のコンサート



ピアノの日



くらら大ホール

イ 地域芸術の育成 (うち 11,097 千円)

(7) 芸術文化活動の支援 (うち 3,320 千円)

市民が主体的に行う文化事業の後援を行うとともに、東広島市文化連盟活動団体に助成を行う。

【活動指標】

後援回数 130 回

(1) 芸術文化活動の推進 (うち 7,777 千円)

けんみん文化祭の開催や、芸術文化活動の推進に関する相談業務等を行う。

【活動指標】

けんみん文化祭の開催(分野別・地区)

各 1 回

コンシェルジュ業務相談件数 25 回



事業の概要			
戦略	1 芸術文化活動の活性化と創造	予算 547,332 千円	前年度 466,399 千円
事務事業	1-2 美術館管理運営事業	予算 236,370 千円	前年度 192,064 千円
内容			
1-2_美術館の管理運営			
① 美術館の管理運営 (236,370 千円 (前年度 192,064 千円))			
ア 特別企画展の開催 (うち 58,618 千円)			
(7) 古代エジプト展(仮称) (うち 23,921 千円)			
<p>古代エジプト専門美術館としては、国内で最も収蔵作品の多い「古代エジプト美術館 渋谷」のコレクションを館外で初公開する。</p> <p>会期：令和5年10月10日～11月26日 (予定)</p>			
古代エジプト展			
<p>(イ) 民藝展(仮称) (うち 24,731 千円)</p> <p>民藝とは何か、民芸運動の創始者・柳宗悦が説いた暮らしの中の美や「用の美」などを紹介する。</p> <p>会期：令和6年2月10日～3月26日 (予定)</p>			
民藝展(仮称)			
<p>【拡】(ウ) 市民美術ウィーク(市美展等)の開催</p> <p>造形芸術活動の発表の場として、市民から公募した作品を展示する東広島市美術展を開催するとともに、「市民美術ウィーク」を開催する。</p> <p>【活動指標】 東広島市美術展の応募数 一般部門 200 点・ジュニア部門 500 点</p>		<p>(うち 9,966 千円)</p> 	
市美術展の様子			
イ 指定管理による美術館の管理運営			
(うち 111,500 千円 (前年度 111,500 千円))			
指定管理により、美術館の維持管理及び展覧会の運営を行う。			
【活動指標】			
親子チケットなどの取組み			
常設展等の開催回数 5 回			



## 事業の概要

ウ 美術館の管理運営 (うち 46,152 千円)

【拡】(7) 学芸業務 【事業団委託】(うち 45,383 千円)

美術館の各展覧会等の運営及び作品収集(購入、寄贈・寄託)や所蔵作品の調査研究を行う。

展覧会や地元作家の作品の収集(購入、寄贈・寄託)

(1) 美術館管理 (うち 769 千円)

美術館協議会等の開催。

エ 芸術文化振興基金への積立 (うち 10,100 千円 (前年度 10,074 千円))

芸術文化振興基金へ元金及び利子を積み立てる。

オ 美術品購入 (うち 10,000 千円 (前年度 10,000 千円))

美術館で収集する作品を購入する。

事業の概要				
戦略	2	文化財の保存と活用	予算 85,334 千円	前年度 129,036 千円
事務事業	2-1	文化財保存活用事業	予算 31,756 千円	前年度 33,787 千円

内容

2-1\_文化財の保存及び活用

① 文化財の保護 (4,871 千円 (前年度 3,480 千円))

ア 西条酒蔵通り地区の保全 (うち 671 千円)

(7) 伝統的建造物群保存地区推進

西条酒蔵通り地区の伝統的建造物群保存地区決定を推進するため、説明会や広報誌によって住民等の合意形成を図る。

年度	内 容
R5	審議会開催、地元合意形成
R6 以降	地区決定 (都市計画決定)、緩和条例等制定



イ 文化財保存活用地域計画の策定 (うち 345 千円)

計 画 名 東広島市文化財保存活用地域計画

計 画 期 間 R3～R5

諮問委員会 歴史文化基本構想策定委員会

ウ 文化財の基礎調査 (うち 1,267 千円)

市内に所在する各種文化財について悉皆調査を行い、必要な保護の措置がとれるよう実態の把握を進める。

R5 予定の調査

○近代建築

○社寺建築



## 事業の概要

### エ 文化財の指定・登録（うち 1,160 千円）

文化財の保存活用に関する諮問機関である文化財保護審議会を開催するほか、市内各種文化財のうち、重要なものについて調査・審議を行い、指定・登録の保護措置をとる。

○東広島市文化財保護審議会(委員 15 人)



### ② 文化財の活用と管理（26,885 千円（前年度 24,426 千円））

#### ア 文化財の公開と活用（うち 7,068 千円）

##### (7) 旧木原家住宅・旧石井家住宅等の公開（うち 6,471 千円）

旧木原家住宅、旧石井家住宅などの貴重な文化財の維持管理及び公開活用を実施するもの。



#### 【新】 (1) 登録有形文化財等の活用（うち 597 千円）

酒蔵や西条・白市等の町家を活用し、イベントなどユニークベンチャーとしての利用を図る。



## 事業の概要

### (ウ) オオサンショウウオの保護と活用（うち 1,428 千円）

国の特別天然記念物の希少な繁殖地として知られる豊栄町に設置したオオサンショウウオの宿を活用し、痩せ个体やケガをしたオオサンショウウオを保護するとともに、保護期間中は、貴重なオオサンショウウオを間近で観察できる機会を提供する。

入館者数（R4.10 末現在）

保護実績（R4.9 末現在）

	市内	市外	合計
R2	164	285	449
R3	169	55	224
R4	379	131	510

保護総数	6 頭
放流数	4 頭
死亡	1 頭
保護中	1 頭



### イ 文化財、文化財施設の維持管理（うち 19,817 千円）

#### (ア) 指定文化財等の環境整備（うち 1,998 千円）

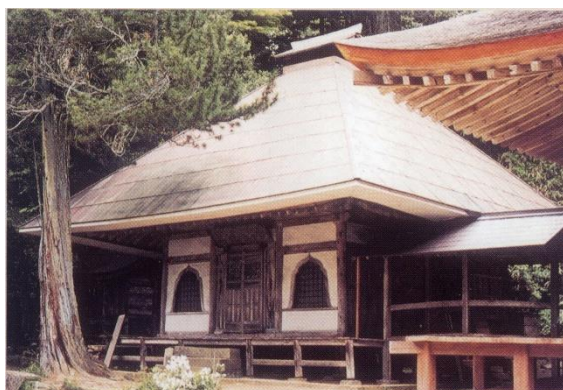
市内に所在する指定等文化財を後世に伝えていくための維持管理及び所有者と協力し実施する。

#### (イ) 文化財、文化財施設等の維持管理（うち 14,849 千円）

文化財及び文化財関連施設その他の維持管理等。

#### (ウ) 指定文化財保存修理（うち 2,970 千円）

市指定重要文化財竹林寺仏堂の保存修理事業に対し、補助金の助成を行う。





事業の概要				
戦略	2	文化財の保存と活用	予算 85,334 千円	前年度 129,036 千円
事務事業	2-2	文化財施設等整備事業	予算 6,084 千円	前年度 54,119 千円

内容

2-2\_文化財施設等の整備

【新】① 旧木原家住宅消防用ポンプの修繕 (3,942 千円 (前年度 0 千円))

旧木原家住宅の消防用ポンプが経年劣化により不具合が多発することから、ポンプ等の交換による修繕を行う。



② 文化財説明板等の新設・修繕 (2,142 千円 (前年度 1,825 千円))

指定・登録文化財の説明板、案内標識の設置及び既設の説明板等、文化財関連施設の修繕を実施し、見学者等の利便性を図る。



事業の概要				
戦略	2	文化財の保護と活用	予算 85,334 千円	前年度 129,036 千円
事務事業	2-3	東広島市史編さん事業	予算 19,365 千円	前年度 17,228 千円
内容				
2-3_東広島市史の編さん				
<p>市民の郷土愛醸成のため、『東広島市史』の発刊事業を進める。事業期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間を予定。市制施行50周年を迎える令和6年度に特別編2巻を先行刊行する。</p>				
<p>① 市史編さんに係る資料調査等 (17,467 千円 (前年度 15,376 千円))</p>				
<p>ア 資料の調査及び収集 (うち 9,409 千円)</p>				
<p>市史編さんに必要な歴史資料の調査及び収集 写真撮影、デジタルデータ化を実施 必要に応じて現物資料の受納・収蔵 市内全域での史料調査・収集</p>				
<p>※令和4年度実績(R4.10月時点) 史料調査 12 件 約 2,000 点</p>				
<p>イ 史料のデジタル化 (うち 7,742 千円)</p>				
<p>【活動指標】 資料のデジタルデータ化 40,000 点</p>				
<p>ウ 研究及び広報普及 (うち 316 千円)</p>				
<p>市史編さんに資するための研究成果の報告 成果を市民に還元するための広報紙の作成・配布</p>				
<p>【活動指標】 市史だより発行 年 2 回</p>				
<p>② 市史編さん委員会等の開催 (1,898 千円 (前年度 1,852 千円))</p>				
<p>ア 市史編さん委員会の開催 (うち 625 千円)</p>				
<p>編さん方針の審議</p>				
<p>イ 編集部会の開催 (うち 379 千円)</p>				
<p>刊行計画の審議 専門分野間での編集内容の調整</p>				
<p>ウ 執筆者専門部会の開催 (うち 894 千円)</p>				
<p>専門分野ごとに執筆</p>				



聞き取り調査の様子

事業の概要				
戦略	2	文化財の保存と活用	予算 85,334 千円	前年度 129,036 千円
事務事業	2-4	埋蔵文化財調査事業	予算 9,668 千円	前年度 9,528 千円

内容

2-4\_埋蔵文化財の調査

① 埋蔵文化財の調査 (9,668 千円 (前年度 9,528 千円))

埋蔵文化財(遺跡)が破壊されることを防ぐため、事前に開発事業者と協議し、必要に応じて試掘調査や発掘調査を実施するとともに、出土品等の資料を整理して研究成果を報告書にまとめる。

ア 埋蔵文化財の保存と調整

埋蔵文化財の有無及び取扱いについて、調査及び指導・助言する。

イ 埋蔵文化財の発掘調査

埋蔵文化財が保存できない場合、記録保存のための発掘調査を行い、出土した遺物及び図面・写真等を整理・収蔵し、調査・研究する。



発掘調査の様子



試掘調査の様子

事業の概要				
戦略	2	文化財の保存と活用	予算 85,334 千円	前年度 129,036 千円
事務事業	2-5	出土文化財管理活用事業	予算 18,461 千円	前年度 14,374 千円

内容

2-5\_出土文化財の公開活用

① 出土文化財の管理活用（18,461 千円（前年度 14,374 千円））

埋蔵文化財（遺跡）の存在の周知に努めるとともに、そこから出土する出土文化財（土器や石器等）を適切に保存・収蔵・管理するとともに、展示や講座等で市民向けに公開・活用する。

ア 常設展示・速報展示

市が保管する出土文化財を展示・公開する。

【活動指標】

- ・場所 出土文化財管理センター
- ・回数 2 回

イ 出土文化財企画展示

市保管の出土文化財を様々なテーマで調査研究した成果を展示する。

【活動指標】

- ・場所 出土文化財管理センター及び芸術文化ホール（市民ギャラリー）
- ・回数 1 回

※実績（R4 年度は、テーマ「東広島古墳」で R5.1～2 月開催）

【新】ウ 国重要文化財の展示（うち 4,245 千円）

市立美術館等で展示会を開催し、国重要文化財を適切に公開・活用する。

エ 出土文化財報告会、遺跡の現地見学会開催

市内で発掘調査を実施した遺跡の成果を、写真等を用いて報告する。

【活動指標】

- ・場所 市民文化ホールくらら
- ・回数 報告会 1 回、見学会は適宜

※実績（報告会：R3・4 年度に調査した遺跡を R5.2.11 に開催予定）

（遺跡見学会：R4.12.17 広島県教育事業団と共催。参加者 104 人）

オ 講師派遣や各種講座、解説等への対応

※実績（R4.12 月時点）4 件…市事業団との共催講座（全 7 回）を除く。

カ 出土文化財の情報発信

- ・広報誌「東ひろしまの遺跡」：年 2 冊発行、ホームページ：適宜更新



「企画展」見学の様子



講座の様子





令和 5 年度 目的別事業群総括管理 ( 予算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 ( R 1 年度 )	目標値 ( R 6 年度 )
	生涯学習の満足度	61.5%	80%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成	主管部局・所属	生涯学習部 スポーツ振興課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	いつでも・どこでも・誰でも・地域でスポーツができる仕組みがあるまちになっています。	現状	スポーツに興味がある人は多いが、スポーツを習慣としている人の割合が低い。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
活動機会の提供によるスポーツ活動の習慣化及び指導者の育成が必要である。	スポーツ活動の普及振興		高	1
スポーツ団体及び個人への活動支援及び競技スポーツの振興が必要である。	スポーツ活動の支援充実		中	2
市民ニーズに合ったスポーツ施設の整備が必要である。	スポーツ施設等の整備運営		低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 週に1日以上スポーツする人の割合	35.6 ( H29 )		43.6	45	46.4	50 ( R8 )	%
(4) スポーツ振興奨励金申請件数	151 ( H29 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	161	166	171	183 ( R8 )	人
(7)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)		当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 4 年度	年度		338,296			
	4 年度		245,525			
R 5 年度	年度		286,831			
	5 年度		199,477			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R4 当初予算額	R5 当初予算額
				R4 決算額	R5 決算額
1-1	10・6・1 スポーツ活動活性化事業	スポーツ振興課	3.50	39,393	40,540
2-1	10・6・1 スポーツ活動支援事業	スポーツ振興課	1.50	11,221	11,042
3-1	10・6・2 スポーツ施設整備事業	スポーツ振興課	1.50	106,788	59,508
3-2	10・6・2 スポーツ施設管理運営事業	スポーツ振興課	1.50	180,894	175,741
合計			8.00	338,296	286,831

7 R5事業費の分析（差額＝「R5年度当初予算額」－「R5年度決算額」）

※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R5成果指標の分析（成果指標の平均達成率）

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	③ 生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成

事業の概要				
戦略	1 スポーツ活動の普及振興	予算	40,540 千円	前年度 39,393 千円
事務事業	1-1 スポーツ活動活性化事業	予算	40,540 千円	前年度 39,393 千円

内容

1-1\_スポーツ活動の活性化

① スポーツ活動の充実 (40,540 千円 (前年度 39,393 千円))

ア 地域でのスポーツ活動 (うち 26,146 千円)

スポーツの振興に関する情報収集及び情報提供、生きがい健康体育大学や各種スポーツ教室等の開催、スポーツに関する備品・用具の貸出業務等を教育文化振興事業団に委託する。

また、市内各小学校区に設置のウォーキング看板を新設、修繕し、地域でのウォーキングの普及促進を図る。

(7) スポーツ教室の開催 (東広島市教育文化振興事業団への業務委託事業) (うち 25,398 千円)

- ・開催期間：通年 (4月～3月)
- ・教室数：19 イベント・教室
- ・場 所：東広島運動公園、黒瀬・安芸津 B & G 海洋センター等

※実績 (R5.1 時点)：19 イベント

【拡】 (イ) 小学校区設置ウォーキングコース看板整備 (うち 748 千円)

龍王小学校区看板の新設や老朽化した看板等を修繕する。



【小学校区ウォーキング看板】

イ 全市域を対象とするスポーツイベントの開催 (うち 5,000 千円)

市民のスポーツの振興及び競技力の向上、また健康維持や世代間交流、地域の活性化を図ることを目的に開催される各種スポーツイベントに対し、事業費補助金を交付する。

(7) 市民スポーツ大会 (陸上の部及び球技の部) (うち 2,806 千円)

- ・開催日：陸上の部 6月4日 (日) 及び球技の部 9月24日 (日)
- ・場 所：東広島運動公園、福富多目的グラウンド及び  
河内スポーツアリーナ

※実績 (R4 参加者数)：陸上の部 1,800 人、球技の部 1,800 人

## 事業の概要

### (イ) 東ひろしま新春駅伝競走大会の開催（うち 2,194 千円）

- ・開催日：1月6日（土）
  - ・場 所：東広島運動公園陸上競技場発着近隣周回コース
- ※実績（R4 参加チーム数等）：120 チーム、2,000 人



【市民スポーツ大会陸上の部】

【新春駅伝競走大会】

### (ウ) さわやかウオークの日（歩こうDAY）の開催

- ・開催日：10月22日（日）
  - ・場 所：西条中央公園出発
- ※東広島市ウオーキング協会「東広島スマートウオーク」との共催  
※実績（R4 参加者数）：170 人



【さわやかウオークの日（歩こうDAY）】

### 【拡】 ウ トップアスリートのスポーツ教室（トップアスリートふれあい事業） （うち 1,320 千円）

トップアスリートからの直接指導や交流を通して、競技力の向上、競技人口の拡大を図ること及び競技スポーツへの関心を高めることを目的とし、プロスポーツ団体にスポーツ教室事業を委託する。

- ・開催日：8月又は11月（詳細は、実施団体との調整による）
  - ・場 所：東広島運動公園
- ※実績（R4）：中止（新型コロナ等実施団体との調整による）



【ファミリーサッカーフェスタ】

## 事業の概要

エ 全国規模の大会実施（ひろしま県央競歩大会の開催）（うち 1,182 千円）  
日本記録が更新され、認知度が向上した今大会を継続して開催することで、広く東広島市をアピールするとともに本市における競技スポーツの普及振興を図るもの。

- ・開催日：11月26日（日）
- ・場 所：東広島運動公園陸上競技場

※実績（R4 参加者数）：400 人



【ひろしま県央競歩大会】

オ 地域のスポーツ活動と運動習慣づくりに向けた指導者育成  
（うち 6,192 千円）

(7) スポーツ推進委員（うち 5,388 千円）

各地域におけるスポーツの普及、実技指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、資質向上に向けた研修会を開催する。

- ・任 期：令和4年4月～令和6年3月
- ・委嘱人数：80人
- ・研修会：市主催研修会（3回）  
呉賀茂地区、広島県、中国地区及び全国大会（7回）
- ・協力支援事業：市主催事業（市民スポーツ・新春駅伝等）  
県障害者スポーツ協会主催事業（フライングディスク大会等）



【スポーツ推進委員研修会（ペタンク研修）】



(1) コミュニティ健康運動パートナー（うち 804 千円）

地域住民の健康を地域で支える仕組みづくりに向け、コミュニティ健康運動パートナーを育成するとともに、健康寿命の延伸に向けて高齢者が無理なく取り組むことができるスポーツの普及を支援する。

### 【活動指標】

- ・生きがい健康体育大学受講者：50人

※実績（R4）：令和4年度生きがい健康体育大学修了者数29人

事業の概要					
戦略	2	スポーツ活動の支援充実	予算	11,042 千円	前年度 11,221 千円
事務事業	2-1	スポーツ活動支援事業	予算	11,042 千円	前年度 11,221 千円
内容					
2-1_スポーツ活動の支援充実					
① スポーツ団体の育成支援(6,850 千円(前年度 7,186 千円))					
ア 市内スポーツ団体に対する支援(うち 6,800 千円)					
(7) 東広島市スポーツ協会に団体運営補助金の交付(うち 6,800 千円)					
・団体育成費：加盟競技団体等(23 団体)に対する事業費等					
・地域振興費：加盟地域団体(5 団体)に対する事業費等					
・スポーツ少年団：スポーツ少年団単位団が実施する大会等事業費					
・事業費：主催事業(トップアスリート招聘、シニア向けスポーツ活動支援等)					
② 競技スポーツの振興(4,192 千円(前年度 4,035 千円))					
ア 全国大会出場者、全国大会開催団体に対する支援(うち 4,150 千円)					
(7) 出場奨励金(うち 4,000 千円)					
全国大会又は国際大会に出場するものに奨励金を交付し、支援することにより、競技力の向上を図ることを目的とする。					
a 全国大会					
交付金額(個人)：10,000 円					
交付金額(団体)：5 人まで 50,000 円					
6 人以上 10,000 円×人数(上限 150,000 円)					
b 国際大会					
交付金額(個人)：20,000 円					
交付金額(団体)：5 人まで 100,000 円					
6 人目以降 20,000 円×人数(上限 300,000 円)					
※対象者は、市内に住所を有する者に限る。					
【活動指標】					
a 全国大会					
・個人：137 人 ・団体：25 団体					
※実績(R5.1.13 時点)：個人142 件、団体25 件					
b 国際大会					
・個人：5 人					
※実績(R5.1.13 時点)：個人1 件					
					
【全国大会出場 表敬訪問】			【インターハイ出場表敬訪問】		
(西条三ツ城スポーツ少年団)			(賀茂高校)		

## 事業の概要

### (イ) 開催助成金(うち 150 千円)

市内で全国大会を開催するものを助成し支援することによりスポーツ活動の普及促進及び交流の活性化を図ることを目的とする。



#### a 全国大会

交付金額(団体) : 150,000 円

#### 【活動指標】

全国大会 1 件



事業の概要				
戦略	3	スポーツ施設等の整備運営	予算 235,249 千円	前年度 287,682 千円
事務事業	3-1	スポーツ施設整備事業	予算 59,508 千円	前年度 106,788 千円
内容				
3-1_スポーツ施設等の整備運営				
①スポーツ施設の整備（59,508千円（前年度106,788千円））				
【新】ア 廃校施設の聖地化・既存施設の特徴化（うち5,408千円）				
統廃合により廃校になった体育館を利活用し、特定分野に関して市民全体が利用できるよう聖地化し、既存施設の特徴化を行う。				
(7) 廃校体育施設の聖地化（うち4,000千円）				
小学校体育施設から社会体育施設への用途変更に伴う改修設計業務を行い聖地化を進める（法適合に係るもの）。				
				
旧東志和小学校でペタンクを楽しむ様子		聖地化を予定している旧東志和小学校体育館		
(イ) 既存施設の特徴化（うち1,408千円）				
a 測定機器の設置				
ウォーキングなど日々のスポーツ活動の効果を科学的に計測し検証するため、部位別筋肉量・部位別体脂肪量などが測定できる機器を黒瀬B&G海洋センターに設置し、体力計測ができる施設として特徴化する。				
イ スポーツ施設の改修（うち54,100千円）				
(7) 八本松市民G夜間照明改修工事（うち54,100千円）				
夜間照明の老朽化にともない照明塔及び照明（水銀灯からLEDの改修工事を行う）。				

事業の概要				
戦略	3	スポーツ施設等の整備運営	予算 235,249 千円	前年度 287,682 千円
事務事業	3-2	スポーツ施設管理運営事業	予算 175,741 千円	前年度 180,894 千円

**内容**

3-2\_スポーツ施設等の管理運営

①スポーツ施設管理運営(175,741千円(前年度180,894千円))

ア スポーツ施設の修繕(うち4,956千円)

各スポーツ施設において、安心して安全に活動できるように老朽化した施設及び設備の修繕を行う。

(7) 設備修繕：安芸津市民グラウンド防球ネット修繕

(4) 施設修繕：安芸津B&G海洋センタープールサイドシート修繕ほか  
2カ所

イ 指定管理者による管理運営(うち155,824千円)

施設の配置が広範囲に及ぶことから利用者の利便性に配慮した管理を行うため、指定管理者制度を活用し効率的かつ地域事情に適した維持管理を行う。

**【指定管理施設 23カ所】**

(指)：指定管理施設

区分	名称	管理
体育館	豊栄市民体育館	
	河内スポーツアリーナ	(指)
プール	黒瀬屋内プール	(指)
	安宿区民プール	
	能良区民プール	
グラウンド	八本松市民グラウンド	(指)
	志和市民グラウンド	(指)
	黒瀬市民グラウンド	(指)
	黒瀬多目的グラウンド	(指)
	福富多目的グラウンド	(指)
	豊栄市民グラウンド	
	豊栄ふれあいグラウンド	
	河内市民グラウンド	(指)
	河内区民グラウンド	
	入野区民グラウンド	(指)
	安芸津市民グラウンド	(指)

区分	名称	管理
コミュニティ スポーツ 広場	田ロコミュニティスポーツ広場	(指)
	椋坂コミュニティスポーツ広場	(指)
	溝ロコミュニティスポーツ広場	(指)
	造賀コミュニティスポーツ広場	(指)
	杵原上コミュニティスポーツ広場	(指)
	杵原下コミュニティスポーツ広場	(指)
	上戸野コミュニティスポーツ広場	(指)
テニスコート	豊栄テニスコート	
	豊栄屋内球技場	
屋内球技場	豊栄屋内球技場	
キャンプ場	東広島市グリーンスポーツセンター	
海洋 センター	東広島市黒瀬B&G海洋センター	(指)
	東広島市安芸津B&G海洋センター	(指)
パーク ゴルフ場	東広島市福富パークゴルフ場	(指)
	東広島市河内パークゴルフ場	(指)



# 令和5年度 分野別基盤事業（予算）シート

まちづくり大綱

3 人づくり

## 内容

### <こども未来部>

#### (1) 幼稚園の管理及び運営

(79,377 千円 (前年度 55,682 千円)) 【10 款 4 項 1 目】

##### ① 幼稚園の運営

幼稚園の運営に必要な人件費、消耗品及び備品の購入等

##### ② 幼稚園の管理

幼稚園の施設や設備を維持管理するための業務委託等

##### ③ 八本松中央幼稚園の解体（うち 41,500 千円）

八本松駅前土地区画整理事業の区域内にある八本松中央幼稚園（令和5年3月閉園）の解体工事等

#### 【新】④ 御菌宇幼稚園の認定こども園化（うち 5,500 千円）

御菌宇幼稚園の認定こども園化の設計業務

時期	内容
令和5年度	改修設計
令和6年度	改修工事
令和7年4月	開園

#### (2) 幼児教育の支援（304,211 千円 (前年度 401,757 千円)) 【10 款 4 項 1 目】

##### ① 私立幼稚園への助成（うち 1,057 千円）

私立幼稚園の円滑な運営及び幼児教育の充実を図るための支援

##### ② 無償化対象者への給付（うち 303,154 千円）

利用料及び預かり保育料等の対象者への給付

### <学校教育部>

#### (1) 小学校の管理（829,081 千円 (前年度 815,253 千円)) 【10 款 2 項 1 目】

##### ① 小学校の運営

小学校に必要な消耗品、備品の購入等

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策に必要な保健衛生用品の購入に係る経費（うち 4,168 千円）

##### ② 小学校の管理

小学校の施設や設備を維持管理するための業務委託等

##### ③ 仮設校舎リース等に係る経費

ア 既設の仮設校舎リース料

#### 【新】イ 御菌宇小学校仮設校舎建築費（リース：R5～R10）（うち 127,000 千円）

児童数増に伴う教室不足に対応するため。

## 内容

- (2) 小学校の教材整備 (27,469 千円 (前年度 27,469 千円))【10 款 2 項 2 目】  
授業に必要な教材等の物品購入に係る経費
- (3) 中学校の管理 (360,107 千円 (前年度 334,854 千円))【10 款 3 項 1 目】
- ① 中学校の運営  
中学校に必要な消耗品、備品の購入等
    - ・ 新型コロナウイルス感染症対策に必要な保健衛生用品の購入に係る経費 (うち 1,918 千円)
  - ② 中学校の管理  
中学校の施設や設備を維持管理するための業務委託等
  - ③ 仮設校舎リース等に係る経費
    - ア 既設の仮設校舎リース料
    - イ 松賀中学校駐輪場リース料 (うち 2,860 千円)
- (4) 中学校の教材整備 (18,935 千円 (前年度 18,935 千円))【10 款 3 項 2 目】  
授業に必要な教材等の物品購入に係る経費
- (5) 学校体育施設の市民開放  
(17,176 千円 (前年度 16,835 千円))【10 款 6 項 2 目】  
市内公立の小学校及び中学校の体育施設を、学校教育に支障がない範囲内で、スポーツ・レクリエーション活動を行う市内在住者で構成された団体に開放する。
- (6) 学校給食の管理 (19,312 千円 (前年度 20,586 千円))【10 款 6 項 3 目】
- ① 給食従事者の健康診断及び学校給食センター内衛生管理検査の実施 (うち 5,022 千円)  
【検査内容】 定期健康診断 (7～8 月)、腸内細菌検査 (毎月 2 回)、  
ノロウイルス検査 (10～3 月に月 1 回)、  
衛生管理検査 (年 2 回)  
【健康診断対象給食従事者人数】 90 人
  - ② 給食従事者への研修の実施 (うち 102 千円)  
栄養教諭・学校栄養職員研修会、学校給食業務研修会
  - ③ 各小中学校配膳室の物品等の管理 (うち 5,160 千円)
  - ④ 学校給食費の公会計に係る諸経費 (うち 9,028 千円)
    - ア 学校給食費決定通知書等送付
    - イ 学校給食費決定通知書印刷業務
    - ウ 学校給食費管理システム保守管理  
小・中学校及び幼稚園の児童・生徒・園児、教職員の約 17,500 人分の給食費決定通知書の印刷や送付、システムの保守管理等
    - エ 学校給食費の収納嘱託員の設置  
学校給食費の督促・催告等、収納に関する事務を実施

## 内容

### (7) 学校給食センターの運営

(2,017,997千円(前年度1,878,081千円))【10款6項3目】

#### ① 東広島学校給食センターの運営

##### ア 食器籠の老朽化に伴う更新(うち4,787千円)

14年以上の使用により、表面の塗装が剥がれ、塗装片が給食内に混入するおそれがあることから、更新する。

#### ② 西条学校給食センターの運営

#### ③ 東広島北部学校給食センターの運営

#### 【新】ア 東広島北部学校給食センター調理等業務委託(うち120,437千円)

令和5年8月から東広島北部学校給食センター調理等業務を業務委託により実施する。

#### ④ 安芸津学校給食センターの運営

##### ア 厨房機器の老朽化に伴う更新(うち14,903千円)

導入後17年経過し、保守部品等の枯渇により、故障時に修理不能となる厨房機器(超音波洗浄機、IH調理機、冷却機能付食缶消毒保管庫等)を更新する。

※ 令和3年度からの学校給食費公会計化に伴い、賄材料費を一般会計に計上している。

【各学校給食センターの賄材料費】

(千円)

東広島	西条	東広島北部	安芸津	合計
515,543	88,996	246,316	40,687	891,542

## <生涯学習部>

### (1) 成人式(二十歳のつどい)の開催

(5,702千円(前年度4,997千円))【10款5項1目】

新成人として自ら社会を構成する一員であるという自覚を促すとともに、二十歳を機会に仲間との絆を再認識することにより、東広島市への愛着を育成するため、「二十歳のつどい」を開催する。

【場 所】 運動公園体育館

【開催日】 令和6年1月8日(予定)

民法改正によって式典名を「成人を祝う会」から「二十歳のつどい」へ変更したことに伴い、これまでのコンセプトを「祝福と大人へのけじめ」から「東広島市でつながる」に改め、運営の一部を次のとおり見直す。

#### ① 新成人同士の交流の促進

本市出身の新成人だけでなく、新たに市民となった新成人も含め、ともに絆を深めることができるよう、より広範囲で交流できる時間を確保する。

#### ② 会場レイアウトの見直し

出席者、特に晴れ着を着用した女性の利便性向上と、私語の抑制による厳

## 内容

かな式典の開催が可能であることから、コロナ収束後も引き続き配席間隔を確保する。また、スムーズな入退場のため、仕切りフェンスの配置も引き続き行う。



誓いの言葉



会場全景

### (2) 児童青少年センターの管理

(21,018千円(前年度20,574千円))【10款5項1目】

#### ① 児童青少年センターの管理・運営

##### ア 青少年の心の居場所の提供

児童青少年の健全な育成と福祉の増進のため、児童青少年が気軽に利用できる「心の居場所」を提供する。

##### イ 青少年の地域活動の拠点としての位置付け

青少年の積極的な地域活動への参画を促すために使用する施設を、地域活動の拠点として位置付ける。

